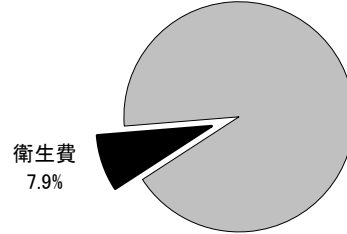


# 第4款 衛生費

## ■一般会計に占める割合



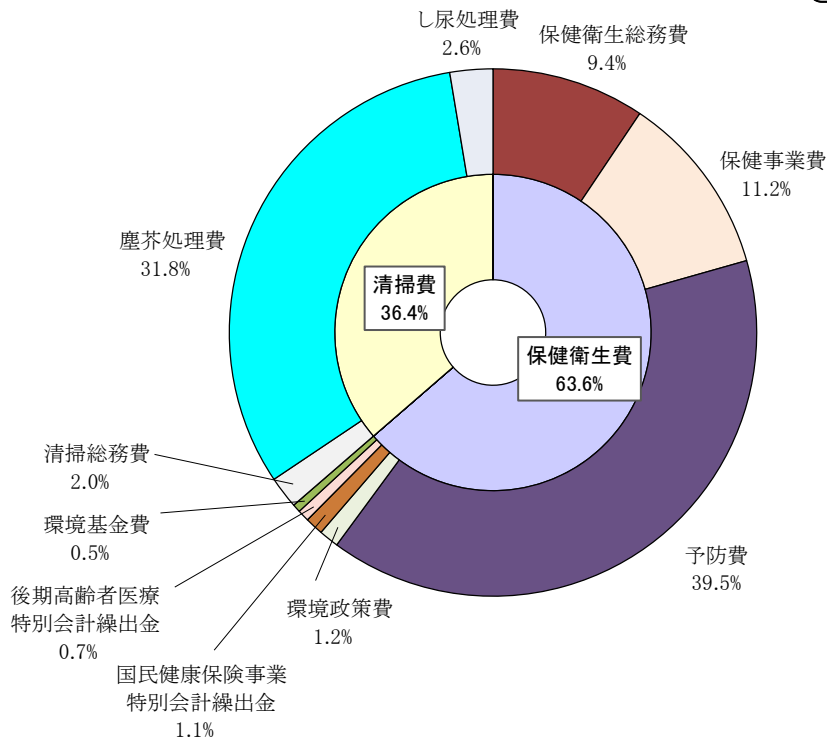
## ■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和3年度	6,947,771	6,181,217	2,496,078	106,100	500,431	3,078,608	89.0%
令和2年度	4,587,498	4,112,697	614,610	0	473,478	3,024,609	89.7%
増減	2,360,273	2,068,520	1,881,468	106,100	26,953	53,999	—

## 決算額項別目別構成比

内円：項  
外円：目



## 保健衛生費

## 1 休日診療所・休日調剤薬局等一体的整備に向けた実施設計の着手

＜休日診療所・休日調剤薬局等一体的整備事業費＞ 2,630,996円 2,618,451円

旧総合保健センター跡地にリース方式で予定している休日診療所・休日調剤薬局等の一体的整備について、感染症対策をより講じた動線に変更するなど設計内容を見直しました。設計に時間を要したことから、スケジュールを変更し、令和5年3月の開設に向けて実施設計に着手しました。

## 〔施設整備概要〕

建設予定地 新川六丁目35番28号

構造 軽量鉄骨造（平屋）

整備内容 休日診療所、休日調剤薬局（薬剤師会事務局を含む）、休日歯科応急診療所、会議室、トイレ、駐車場、駐輪場 等

## 〔スケジュール〕

令和4年2月～令和4年6月 実施設計

令和4年7月～令和5年1月 地盤補強・整備工事

令和5年3月 施設オープン

## 〔債務負担行為の内容〕

休日診療所・休日調剤薬局等暫定施設使用料

（令和4～9年度＜債務負担分＞207,900,000円）

## 2 三鷹市PCRセンターの開設期間の延長

29,396,373円

27,796,553円

## ＜新型コロナウイルスPCRセンター関係費＞

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、三鷹市PCRセンターを令和3年12月まで延長して運営し、感染拡大の防止を図りました。

## 〔実績・内容〕

検査対象者 市内の医療機関においてPCR検査が必要と判断され、医師がPCRセンターに予約した方

検査方法 ドライブスルー方式またはウォークスルー方式

検査人数 延べ405人（令和3年4月1日～12月22日）

## 【財源内訳】

都 支 出 金 27,271,000円

一 般 財 源 525,553円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

3 医療機関支援の延長及び拡充 182,470,000円 133,872,500円

＜新型コロナウイルス感染症医療支援事業費、新型コロナウイルス感染症自宅療養者医療支事業費＞

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、医療支援事業の助成を令和4年3月まで延長するとともに、自宅療養者の診療を行う医療機関に対して市独自の補助を実施し、感染症患者等の医療体制の確保・充実に努めました。

〔実績・内容〕

- |                              |              |
|------------------------------|--------------|
| (1) 感染症患者専用病床等設定支援事業         | 14,400,000円  |
| 病床の設定及び初期段階で必要となる施設環境整備に係る経費 |              |
| 重点医療機関                       | 延べ12床、2医療機関  |
| (2) 医療体制確保支援事業               | 117,296,000円 |
| 医療従事者の処遇充実（手当、安全な環境確保等）に係る経費 |              |
| 特定機能病院                       | 延べ10床、1医療機関  |
| 重点医療機関                       | 延べ8床、1医療機関   |
| 疑い患者受入協力医療機関                 | 延べ2床、1医療機関   |
| PCR検査等行政検査実施医療機関             | 61医療機関       |
| (3) 自宅療養者医療支援事業              | 2,176,500円   |
| 自宅療養者の診療を行う医療機関に対しての経費       |              |
| 遠隔診療実施医療機関                   | 延べ5件、3医療機関   |
| 往診実施医療機関                     | 延べ10件、2医療機関  |

【財源内訳】

国庫支出金	115,062,000円	一般財源	18,810,500円
-------	--------------	------	-------------

4 PCR検査等に要する費用の助成 42,121,000円 13,128,075円

＜PCR検査等助成事業費＞

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、PCR検査等に要する費用の助成を行い、感染拡大の防止を図りました。

〔事業概要〕

実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
助成対象	市内の高齢者・障がい者施設の事業所等が職員や利用者等に対して実施するPCR検査等に要する費用等
助成金額	PCR検査 20,000円／1人当たり（上限額） 抗原検査 7,500円／1人当たり（上限額）
助成実績	PCR検査 3,564件、抗原検査 71件

【財源内訳】

都支出金	13,128,000円	一般財源	75円
------	-------------	------	-----

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
<b>5 自宅療養者相談支援センターの開設</b>	614,770円	433,016円
<b>＜自宅療養者相談支援センター関係費＞</b>		
新型コロナウイルス感染症による自宅療養者等に対して、きめ細かな相談を通して在宅での生活を支援するため、令和3年10月に自宅療養者相談支援センターを設置しました。東京都から提供される新型コロナウイルス感染症陽性者の情報も活用し、プッシュ型による支援に取り組みました。		
<b>〔実績・内容〕</b>		
開設時期 令和3年10月1日（金）		
相談件数 861件		
<b>〔関連事業費〕</b>		
民生費 自宅療養者への食料支援	8,211,539円（101ページ参照）	
<b>【財源内訳】</b>		
都 支 出 金	35,000円	一般財源
		398,016円
<b>6 悩みを抱える家庭への支援の取組</b>	306,000円	305,400円
<b>＜産後うつ病等対策事業費＞</b>		
思いがけない妊娠など様々な悩みを抱えた妊婦に対して、気兼ねなく相談できる電話相談窓口を設け、妊娠届から始まる切れ目のない支援に繋げました。		
<b>〔実績・内容〕</b>		
「妊娠・出産にとまどいのある方の相談窓口」		
受付時間 平日（月～金曜日）午前9時～午後4時		
相談件数 25件		
<b>【財源内訳】</b>		
都 支 出 金	152,700円	一般財源
		152,700円
<b>7 歯科衛生教育の運用方法の変更</b>	358,000円	261,600円
<b>＜妊婦・乳幼児等歯科保健事業費＞</b>		
幼児の歯科保健意識の向上を図ることを目的とした歯科衛生教育について、新たに私立認可保育園を対象施設に加え、公立保育園との隔年実施に変更して行いました。		
<b>〔実績・内容〕</b>		
対象施設（令和3年度）	私立認可保育園 19園	
対象人数	3歳児から5歳児延べ675人	
実施内容	各園に歯科衛生士を派遣し、う蝕予防の衛生教育やブラッシング指導を実施	

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

8 産前・産後サポート支援の拡充 14,192,000円 9,465,241円

＜すこやかサポート事業費＞

妊婦と不慣れな育児で不安の高まる産後間もない産婦に対して、専門職による電話等での相談対応、不安を持つ産婦等への家庭訪問などにより、不安の軽減や必要なサービスに繋げる支援を行い、相談支援体制の充実を図りました。

〔実績・内容〕

相談件数 電話相談 延べ2,033件、訪問相談 延べ1,041人

【財源内訳】

国庫支出金	4,732,000円	都支出金	2,366,000円
一般財源	2,367,241円		

9 ふたご家庭支援の継続 2,703,000円 1,801,447円

＜ふたご家庭等応援事業費＞

ふたご等を育てる家庭への支援として、移動経費補助や交流会を引き続き実施するとともに、新たに妊婦健康診査費用の一部助成を開始し、安心して子育てができる環境の整備に取り組みました。

〔実績・内容〕

・移動経費補助

専門員による面接（訪問）を受けた0歳、1歳及び2歳児がいる家庭に、健診や交流会等の参加を目的としたタクシーの移動経費に利用できる育児パッケージの配付

面接実施数・こども商品券贈呈数 67件

・ふたごの親の交流会

ふたごを育てる保護者等の育児に関する情報交流の場を設け、安心して子育てができる関係づくりの支援

開催回数 6回

参加者数 延べ50人

・既存の健診助成（14回）を超える健診が生じた際に費用の一部を助成

助成内容 健診費用1回当たり5,000円を助成（上限5回）

助成件数 0件

【財源内訳】

国庫支出金	95,000円	都支出金	1,430,000円
一般財源	276,447円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

10 ファーストバースデイサポート事業の実施 27,827,000円 20,999,225円

＜1歳児支援事業費＞

1歳前後は自我の芽生えや行動範囲が広がる等の急激な発達の変化があり、子どもへの対応に悩み始める時期であるため、子どもの発達や家庭状況等の把握を目的としたアンケートを実施し、返送された内容を基に電話や面接訪問により相談を受ける体制を整備しました。

〔実績・内容〕

アンケート回答件数 1,286件（回答者へこども商品券を贈呈）  
うち支援件数 705件（電話による状況確認と相談支援の案内）

【財源内訳】

都支出金 20,999,000円 一般財源 225円

11 出産応援事業の実施 1,357,000円 1,098,117円

＜出産応援事業費＞

東京都では、コロナ禍において、これから子どもを産み育てたいと考えている家庭を応援・後押しするため、令和3年1月以降に出生した子どものいる家庭に対して育児用品や子育て支援サービスを提供し、経済的負担の軽減を図る出産応援事業を実施しています。市では、東京都の委託事業として対象者へ案内の送付を行いました。

〔実績・内容〕

対象者 令和3年度は令和3年1月～令和4年3月に出生し、出生日時時点で三鷹市に住民登録のある子どものいる世帯  
支援内容 子ども1人につき10万円分の育児用品や子育て支援サービス等  
※アンケート調査及び子育て支援施策の情報提供をあわせて実施  
※育児用品等の提供は東京都の予算で実施  
送付実績 1,570件

【財源内訳】

都支出金 1,098,117円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

12 子宮頸がん予防ワクチンの情報提供の実施 26,014,228円 15,300,570円

＜乳幼児等予防接種事業費＞

子宮頸がん予防ワクチンについては、国の通知に基づき、平成25年6月から積極的勧奨を控えてきましたが、令和2年10月に、国から、対象者が接種を検討・判断するために必要な情報提供を行うよう改めて通知があったことから、個別通知による情報提供を行いました。

〔実績・内容〕

対象者 過去に予診票の発送履歴がない高校1年生の女子生徒 657人

※ 令和3年11月の国の通知により、積極的勧奨の差し控えが解除されたことから、中学1年生から高校1年生の女子に令和4年4月から順次勧奨を行っています。

【財源内訳】

諸収入	874,830円	一般財源	14,425,740円
-----	----------	------	-------------

13 高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成の拡充 16,851,000円 10,229,162円

＜高齢者等予防接種事業費＞

65歳を対象とした高齢者肺炎球菌ワクチンの接種について、経過措置として65歳以上の5歳刻みの年齢を対象に費用の一部助成を行ってきましたが、更なる接種率の向上に向けて、東京都の補助金を活用し、助成内容を拡充して実施しました。

〔実績・内容〕

拡充期間 令和3年10月～令和4年3月

拡充内容 自己負担額をこれまでの5,000円から2,500円に軽減

接種実績 令和3年度 接種人数 1,377人 接種率 20.6%  
(令和2年度 接種人数 1,268人 接種率 19.3%)

【財源内訳】

都支出金	3,205,000円	諸収入	382,775円
------	------------	-----	----------

一般財源	6,641,387円
------	------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

14 風しん抗体検査及び予防接種事業の推進 26,584,000円 20,951,515円

＜先天性風しん症候群対策予防接種事業費＞

特に抗体保有率の低い世代の男性に対する風しんの抗体検査及び第5期定期予防接種について、これまでの無料クーポン券の配布に加え、検査未受診者及び予防接種未接種者に対して勧奨通知を発送し、感染防止を図りました。なお、令和3年度までの実施としていましたが、国の計画延長に伴い4年度以降も継続して実施します。

〔実績・内容〕

対象者 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性のうち抗体検査未受検者・予防接種未接種者  
 実施方法 対象者（20,754人）全員に勧奨通知を送付

【財源内訳】

国庫支出金	6,579,000円	都支出金	2,697,547円
一般財源	11,674,968円		

15 新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種 2,257,668,000円 1,903,361,378円

〔うち令和2年度からの繰越分 50,179,000円 45,622,525円〕

＜新型コロナウイルスワクチン接種事業費、同事業費（繰越明許費執行額）＞

予防接種法に基づく新型コロナウイルスワクチンの接種について、三鷹市医師会や三鷹市薬剤師会等と連携し、市の特設会場における集団接種と市内医療機関における個別接種を計画的に実施しました。また、コールセンターを設置し、市民からの問い合わせや相談に対して、きめ細かな対応を行いました。

なお、5～11歳の小児接種に係る一部を令和4年度に繰り越して執行します。

〔実績・内容〕

(1) 初回接種（1・2回目接種）

対象者 12歳以上の市民  
 接種期間 令和3年2月17日～令和4年9月30日  
 集団接種 ・元気創造プラザ（サブアリーナ・軽体操室）  
 ・コミュニティ・センター（大沢、牟礼、井口、新川中原、連雀）  
 ・三鷹ネットワーク大学  
 ・杏林大学（松田進勇記念アリーナ）  
 ※高齢者接種の早期完了に向けた杏林大学病院等との連携  
 ※元気創造プラザ～杏林大会場間にシャトルバスを運行  
 個別接種 市内医療機関約70箇所



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
接種実績	1回目 151,480人（令和4年3月31日時点接種率 88.4%） 2回目 150,574人（令和4年3月31日時点接種率 87.9%）	
移動支援	東京都が都立井の頭恩賜公園に設置した、ドライブスルー方式で接種可能な大規模接種会場において、自力や介助者の運転による来場が困難な方を対象に、移動支援を実施しました。 利用実績 50件（54人）	
暑さ対策	コミュニティ・センター集団接種会場の夏季の暑さ対策として冷房機器を設置し、会場内の環境改善を図りました。	
(2) 追加接種（3回目接種）		
対象者	2回目接種完了から6か月以上経過した12歳以上の市民	
接種期間	令和3年12月1日～令和4年9月30日	
集団接種	元気創造プラザ（サブアリーナ・軽体操室）	
個別接種	市内医療機関約80箇所	
接種実績	90,791人（令和4年3月31日時点接種率 53.0%）	
先行予約	予約時の負担軽減と早期接種を図るため、モデルナ社ワクチンの使用と市が最短の接種日時及び会場を指定することを前提に、接種券到着前でも申込可能な先行予約を実施しました。	
(3) 小児（5～11歳）接種		
対象者	5～11歳の市民	
接種期間	令和4年2月21日～令和4年9月30日	
集団接種	元気創造プラザ（サブアリーナ）	
個別接種	市内医療機関16箇所	
接種実績	1回目 1,369人（令和4年3月31日時点接種率 11.5%） 2回目 162人（令和4年3月31日時点接種率 1.4%）	
相談体制	ワクチンの安全性・有効性等に関する丁寧な説明や相談のもと、安心して接種を受けられる体制の充実を図りました。	
(4) コールセンターの設置		
設置場所	市民センター内（開設：令和3年3月15日）	
受付時間	平日 午前9時～午後5時	
(5) 健康被害救済への対応		
	ワクチン接種による健康被害を救済するため、予防接種法に基づく救済制度の申請等に関する相談を受け付けるとともに、三鷹市医師会や保健所、学識者などによって構成する予防接種健康被害調査委員会を開催し、申請内容について調査を行いました。	
開催回数	2回（調査件数：2件）	

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔繰越明許費繰越額〕

令和4年度への繰越分

小児接種 接種委託料等 85,404,499円

【財源内訳】

国庫支出金	1,880,357,972円	都支出金	6,518,000円
繰越金	20,302円	諸収入	16,463,898円
一般財源	1,206円		

■ワクチン接種会場（元気創造プラザ サブアリーナ）



16 専門家の助言を生かした感染症対策の実施 1,299,300円 1,279,300円

〈新型コロナウイルス感染症対策関係費〉

感染症対策の専門家である水野泰孝医師を三鷹市感染症アドバイザーに迎え、市内の各施設の視察を踏まえた指導・助言のもとに適切な感染症対策を実施しました。また、日常生活の感染症対策に役立つ動画を作成し、YouTubeの「三鷹市公式動画チャンネル」で広く公開することで感染拡大防止の啓発に取り組みました。

【財源内訳】

都支出金	120,000円	一般財源	1,159,300円
------	----------	------	------------

17 「受動喫煙防止条例」の施行にあわせた喫煙マナーアップ等の取組

〈受動喫煙防止関係費〉

12,116,000円 11,247,678円

令和3年4月1日の「三鷹市受動喫煙防止条例」の施行にあわせ、喫煙する人とならない人の共存を図るため、喫煙マナーアップの更なる推進に取り組みました。また、特定喫煙所として三鷹駅南口公衆喫煙所を設置し、適切な維持管理に努めました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

- ・喫煙マナーアップ区域における取組

区域内に「路上等受動喫煙防止指導員」を配置し、巡回による声掛けと特定喫煙所の案内を実施しました。

また、区域内外において、横断幕やのぼり旗等による周知のほか、条例の施行にあわせて協力店舗で啓発品を店頭配布するなど「喫煙マナーアップ週間」の取組と連携したキャンペーンの効果的な展開を図りました。

キャンペーンの実施 令和3年11月7日（日）～14日（日）

- ・三鷹駅南口公衆喫煙所の維持管理

新型コロナウイルス感染症対策として、密を避けるための利用定員の制限（8人→6人）や定期的な消毒作業を実施したほか、脱臭装置を設けて空気を浄化し、望まない受動喫煙の防止を図りました。

【財源内訳】

都 支 出 金	131,000円	一 般 財 源	11,116,678円
---------	----------	---------	-------------

18 「星空の街・あおぞらの街」全国大会の開催に向けた取組

＜「星空の街・あおぞらの街」全国大会事業費＞ 83,000円 677円

大気環境保全への意識向上及び郷土の環境を生かした地域おこしの推進を目的として環境省、都道府県、全国協議会が共催する「星空の街・あおぞらの街」全国大会の令和4年度開催地が三鷹市に正式決定しました。「天文台のあるまち三鷹」の魅力を広く発信していくため、開催に向けた準備に取り組みました。

19 ソーラー充電・蓄電池の導入 2,391,000円 2,250,600円

＜ソーラー充電・蓄電池導入事業費＞

平常時に環境学習や学校行事などで活用し、災害時には避難者のスマートフォン充電や照明設備への電源供給等、必要最小限の電源として運用できる小型・軽量のソーラー充電・蓄電池を、全市立小中学校へ試験的に導入しました。

〔実績・内容〕

対 象 校 市立小中学校 22校

配備台数 各校蓄電池1台、ソーラーパネル1台 計各22台

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

20 井口特設グラウンドにおける土壌調査等の実施 37,838,000円 22,354,750円

＜井口特設グラウンド土壌調査関係費＞

井口特設グラウンドについて、防災都市づくりの観点から、グラウンド機能を兼ねた避難場所の確保や医療施設の誘致、東西通路の整備など、地域のまちづくりに資する利活用について具体的な検討を進めています。令和3年度では、その前提となる土壌調査等を実施し、グラウンド造成時の盛土は全て安全な良質土であることが確認されましたが、盛土の下の表層部に3箇所の地点で土壌汚染が判明したため、掘削除去工事を行いました。なお、地下水の汚染はありませんでした。

**清掃費**

1 家庭系ごみ指定収集袋の配送対応 9,338,000円 8,026,723円

＜家庭系ごみ減量・資源化関係費＞

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度に対面方式から配送方式に変更して実施した家庭系ごみ指定収集袋の減免交付について、事業手法を一部見直したうえで令和3年度も引き続き配送による交付を実施しました。

2 粗大ごみ処理制度の変更 130,730,860円 126,897,918円

＜粗大ごみ収集関係費＞

粗大ごみ処理制度について、これまでの「品目別ポイント合算制」を見直し、令和3年10月から「品目別料金制」に変更することで、市民の排出利便性の向上等を図りました。

〔制度概要〕

品目別ポイント合算制【変更前】	品目別料金制【変更後】
<ul style="list-style-type: none"> <li>品目ごとにポイントを設定</li> <li>申込品の合計ポイント数10ポイントまで1,000円、10ポイントを超えると5ポイント毎に500円加算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>品目ごとに料金を設定</li> <li>ポイント合算制の1ポイントに対して、原則200円になるように設定</li> </ul>

※粗大ごみ（家電製品）の定義変更：最大辺30cm以上を40cm以上に変更

【財源内訳】

使用料手数料 48,131,600円 一般財源 78,766,318円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

3 リサイクルセンターの整備に向けた取組 331,037,000円 331,037,000円

＜ふじみ衛生組合関係費＞

ふじみ衛生組合を事業主体とし、組織市である調布市との共同により、令和9年度の新リサイクルセンター施設の稼働に向けた準備に取り組みました。令和3年度は、施設の基本条件や整備手法、事業費、スケジュールなどを定めた「リサイクルセンター整備基本計画」や「三鷹・調布地域循環型社会形成推進地域計画」を策定しました。

〔関連事業費〕

ふじみ衛生組合会計

リサイクルセンターに係る地域計画の策定 495,000円

4 し尿投入施設の整備 147,082,000円 141,743,815円

＜し尿投入施設等整備事業費＞

平成31年4月から多摩川衛生組合に処理をお願いしていたし尿等を市内で安定的に処理するため、旧第二体育館跡地にし尿投入施設を整備し、令和4年4月1日から本格稼働しました。

〔施設概要〕

構造 鉄骨造（平屋）  
延床面積 約100㎡（作業場面積約50㎡）  
受水槽 約40㎡  
搬入量 約2㎥／回（1日1～2回、週2～3日）  
搬入経路 市民センター東側から搬入

【財源内訳】

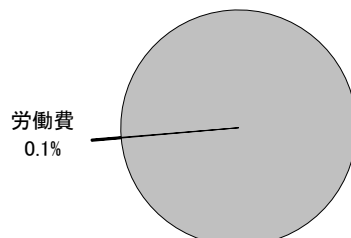
都支出金	27,673,000円	市債	106,100,000円
一般財源	7,970,815円		

■し尿投入施設



## 第5款 労働費

### ■一般会計に占める割合



### ■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和3年度	72,197	69,985	14,785	0	0	55,200	96.9%
令和2年度	61,872	58,210	7,963	0	0	50,247	94.1%
増減	10,325	11,775	6,822	0	0	4,953	—

事業名＜事項名＞及び事業概要

予算現額

決算額

### 労働諸費

1 就職氷河期世代のための就労支援に向けた取組 7,403,000円 7,194,230円

#### 〈就職氷河期世代のための就労支援事業費〉

就職氷河期世代（概ね30～54歳）を中心に、就労に直結するような事業を実施し、伴走型の支援を行いました。実施に当たっては、東京都の「地域人材確保総合支援事業補助金」を活用しました。

〔実績・内容〕

- ・個別相談会等の実施

仕事探しの助言や履歴書、面接の指導等を行う個別相談会を開催したほか、就職活動に関する悩み相談等のカウンセリングを実施しました。

参加者数 延べ164人

- ・スキルアップ講座、技能・資格習得のための支援

対面やオンラインにより就職に向けた技能、資格の取得を支援しました。

参加者数 延べ70人

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

・企業と就職希望者とのマッチング支援

企業の求人ニーズを把握したうえで、就職希望者と企業の交流会をオンラインで4回開催したほか、企業への1日就労体験を6回実施しました。

参加者数 延べ41人

参加企業 延べ26社

就職者数 8人

[その他の地域人材確保総合支援事業]

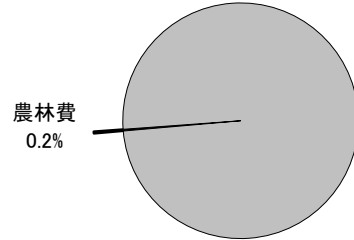
教育費 文化財資料のデジタル化とアーカイブ化 3,300,000円

【財源内訳】

都支出金	7,094,230円	一般財源	100,000円
------	------------	------	----------

## 第6款 農林費

### ■一般会計に占める割合



### ■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和3年度	204,711	182,200	30,530	0	3,383	148,287	89.0%
令和2年度	154,375	143,004	8,252	0	3,977	130,775	92.6%
増減	50,336	39,196	22,278	0	△594	17,512	—

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

### 農業費

1 市内産農産物の活用促進に向けた取組 9,951,000円      8,652,621円

#### ＜「三鷹産野菜の日」関係費、市内産農産物利用推進事業費＞

東京むさし農業協同組合三鷹支店と協力して公立・公私連携保育園を対象にした「三鷹産野菜の日」と学校給食に使用する市内産農産物の購入に係る経費等への補助を継続して実施しました。また、更なる地産地消の拡充と都市農業の振興を図るため、市内産農産物の安定的な確保に向けた取組などを検討しました。

〔実績・内容〕

- ・市内産農産物の使用率      令和3年度17.0%（目標30.0%）
- ・市内産農産物活用支援事業補助金（三鷹産野菜の日）      152,344円
  - 対象施設      公立・公私連携保育園      18園
  - 実施時期      春夏と秋冬の2回
- ・学校給食市内産農産物活用事業補助金      4,066,207円
  - 対象校      市立小中学校      22校
  - 補助金額      児童・生徒一人当たり400円
- ・市内産農産物利用推進事務補助金      4,434,070円
  - 対象経費      食材の配送に係る事務費



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

・保育園での活用

東京むさし農業協同組合三鷹支店や庁内関係部署が連携を図りながら、公設公営保育園での市内産野菜を活用した給食提供の拡充を図りました。

〔関連事業費〕

民生費 公立保育園の食材購入 353,736円

【財源内訳】

都支出金 1,848,000円 一般財源 6,804,621円

2 市民農園の一体的な運用に向けた取組 14,519,785円 10,999,785円

＜市民農園管理運営費＞

場所ごとに一般向けと高齢者向けを区分して運営している既存市民農園について、令和4年度からの一体的な運用に向けて、面積や区画数などの運用方法を検討するとともに、全ての市民農園の耕転を実施しました。

また、令和4年4月より新たに市民農園として開園した牟礼一丁目市民農園について農地所有者と貸借契約を締結し、開園に向けた整備を行いました。農地所有者の事情により牟礼五丁目市民農園を令和4年1月末で閉園しました。

なお、牟礼五丁目市民農園の閉園に伴う撤去工事については、新型コロナウイルス感染症等の影響により、年度内の完了が困難となったことから、繰越明許費を設定し、令和4年度に実施しました。

〔実績・内容〕

牟礼一丁目市民農園

場 所 牟礼一丁目14番

農地面積 485㎡

区 画 数 16区画（一般向け12区画、高齢者向け4区画）

整備内容 既存施設撤去、手洗い場整備、単管柵設置、区画整備、駐輪場整備等

〔繰越明許費繰越額〕

令和4年度への繰越分

牟礼五丁目市民農園 撤去工事費 3,377,000円

【財源内訳】

都支出金 3,887,000円 一般財源 7,112,785円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

3 都市農地保全支援プロジェクト事業の実施 19,642,000円 15,274,000円

＜都市農地保全支援プロジェクト事業費＞

地域住民に配慮した農地の環境整備や防災機能の強化等を目的とした防葉シャッターや土留フェンスの設置工事に対して、補助を行いました。

〔実績・内容〕

実施主体 三鷹市果樹組合

整備内容 防葉シャッター設置工事 4件、土留フェンス設置工事 3件

【財源内訳】

都 支 出 金	14,274,000円	一 般 財 源	1,000,000円
---------	-------------	---------	------------

4 都市農業振興施設整備事業の実施 11,450,000円 5,839,000円

＜都市農業振興施設整備事業費＞

地場産農作物の栽培品目の拡大などに取り組む認定農業者を支援するため、施設整備事業への補助を行いました。

〔実績・内容〕

実施主体 認定農業者3経営体

整備内容 パイプハウス設備 4棟 (447.12㎡)

防風ネット 1式 (62㎡)

防鳥ネット 1式 (110㎡)

その他、播種機などの整備

【財源内訳】

都 支 出 金	4,839,000円	一 般 財 源	1,000,000円
---------	------------	---------	------------

■パイプハウス



令和3年度に取り組んだ農園の整備



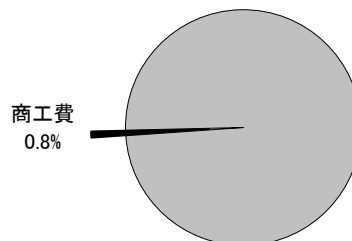
【農業費】

① 牟礼一丁目市民農園

市民農園の一体的な運用に向けた取組

## 第7款 商工費

### ■一般会計に占める割合



### ■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和3年度	676,989	589,930	128,720	0	44,658	416,552	87.1%
令和2年度	1,735,255	1,454,037	964,369	0	41,381	448,287	83.8%
増減	△1,058,266	△864,107	△835,649	0	3,277	△31,735	—

事業名＜事項名＞及び事業概要

予算現額

決算額

### 商工費

#### 1 経営相談窓口開設期間の延長

10,487,030円

9,431,490円

##### 〈商工会助成事業費〉

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、三鷹商工会との協働による経営相談窓口について、開設期間を令和3年9月から令和4年3月まで再延長し、相談体制と制度周知を拡充して実施しました。

##### 〔実績・内容〕

相談体制 三鷹商工会において、電話や対面相談が可能な経営相談窓口を週3日、8月からは週5日に拡充して実施しました。

支援内容 中小企業診断士による経営全般の相談、補助金などのオンライン申請の支援 など

電話相談 54件

窓口相談 505件

周知方法 三鷹商工会による制度周知のチラシ等の作成、配布及び案内動画の作成、配信等

##### 【財源内訳】

国庫支出金 9,204,000円

一般財源 227,490円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
<b>2 買物環境の整備</b> 1,803,000円      544,376円 <b>＜買物環境整備事業費＞</b> 買物支援事業本部（※）を中心に、引き続き買物支援事業に参画する各協議会（商店街単位）の地域特性に合わせた取組を支援しました。 民間事業者及び地域団体と連携した買物送迎支援事業については、検討の結果、法規制等により現段階では有償による事業実施が困難であることを受け、「買物支援」に限定せず広く「移動支援」を目的に、庁内関係部署と連携して事業検討を進めることとしました。 なお、ネットスーパーの説明会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮し、開催を見送りました。 ※買物支援事業本部 三鷹市、三鷹商工会、三鷹市商店会連合会、株式会社まちづくり三鷹、NPO法人みたか都市観光協会、NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構、東京むさし農業協同組合三鷹支店が平成23年度に協定を締結し、本部を設置		
<b>3 都市型産業誘致の今後の取組</b> 121,482,000円      121,165,399円 <b>＜都市型産業誘致促進事業費＞</b> 「三鷹市都市型産業誘致条例」に基づき、指定企業等4社に対して助成を行ったほか、新型コロナウイルス感染症対策として、融資あっせん制度の要件緩和継続による事業者の資金繰り支援など、操業継続に資する取組を実施しました。 条例が令和2年度末で効力を失ったことから、新たな企業等の指定は行っていないませんが、今後の市内事業者の増加や操業継続に向けた取組として、都市計画手法の活用による事業者の操業環境整備の検討、東京都と連携した製造事業者向けの補助金や融資あっせん制度など様々な施策を実施していきます。		

## 4 不況対策緊急資金融資あっせん制度の要件の緩和 61,040,000円 44,814,287円

## ＜中小企業者支援事業費＞

令和2年4月から実施している（特定）不況対策緊急資金の貸付要件の緩和について、令和4年3月まで延長して実施しました。

## 〔実績・内容〕

年度	令和2年度		令和3年度
名称	不況対策緊急資金	不況対策緊急資金 (新型コロナウイルス対策分)	不況対策緊急資金
貸付限度額	運転資金：800万円	運転資金：1,600万円	運転資金：800万円
利率	本人負担：0.35% 市負担：1.625%		
信用保証料	100%補助		
返済期間	6年（据置12か月）		
売上減少の比較期間	①最近3か月又は1年間の売上額実績と過去同期と比較	②最近1か月の実績額又は最近1か月及び今後2か月を含む3か月の実績見込と過去同期と比較	①②とも令和4年3月まで継続
減少割合	①10%以上減少	②減少のみ（割合は問わない）	

あっせん件数 不況対策緊急資金（新型コロナウイルス対策分） 37件  
 特定不況対策緊急資金（新型コロナウイルス対策分） 83件

## 【財源内訳】

国庫支出金 14,801,000円 一般財源 30,013,287円

## 5 オリピック・パラリンピック開催に伴う臨時観光案内所の設置

## ＜観光振興推進事業費＞

489,000円

0円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中に、都立井の頭恩賜公園で開催予定であった東京2020ライブサイトが中止となったことに伴い、緑の小ひろばへの臨時観光案内所の設置は見送りました。

## 6 三鷹産業プラザの経営継続に向けた支援 8,705,000円 4,313,492円

## ＜中心市街地活性化事業費＞

三鷹産業プラザにおいて、令和2年度に引き続き、感染拡大防止のため市の公共施設に準じた利用休止や利用条件制限により、株式会社まちづくり三鷹が利用者に対して免除したキャンセル料等の損失分について補填を行いました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

7 飲食事業者への支援 64,377,650円 64,374,932円

＜飲食事業者支援事業費、飲食店感染防止対策事業費＞

感染拡大の影響を受けている市内飲食事業者等に対する支援に取り組みました。

〔実績・内容〕

(1) 「デリバリー三鷹」の実施期間の延長 61,785,282円

株式会社まちづくり三鷹がプラットフォーム的な役割を担い、飲食店事業者の経営支援、外出を控えている消費者の買物支援及び学生等の就労支援を目的に実施しているデリバリー三鷹について、新型コロナウイルス感染症の感染状況や敬老のつどいの中止に伴う「敬老お食事クーポン券」の開始を踏まえて、令和3年12月まで延長して実施しました。

宅配件数 6,659件

利用可能店舗数 53店舗

〔関連事業費〕

民生費 敬老のつどいの中止と敬老お食事クーポン券の配布

61,248,378円（104ページ参照）

(2) 感染拡大防止対策の徹底 2,589,650円

飲食店の営業時間の短縮等が行われた際に、デリバリー三鷹の配送の仕組みを活用し、テイクアウトやデリバリーの周知のほか、メッセージカードやステッカーなどの啓発品、マスクや消毒液などを配布し、食事時の感染防止と意識啓発を図りました。

【財源内訳】

都支出金	32,220,000円	一般財源	32,154,932円
------	-------------	------	-------------

8 市内事業者実態調査の実施 3,300,000円 3,300,000円

＜事業者実態調査関係費＞

市内事業者への新型コロナウイルス感染症の影響が拡大していることから、事業者の経営実態の把握と各種行政支援策の活用状況や効果の検証のための調査を行いました。調査結果を踏まえて、令和4年度の事業者支援等に活用しました。

〔実績・内容〕

実施方法 市内の1,000事業者にアンケート調査を行い、回答内容や業種バランス等を考慮して事業者を選定し、個別のテーマに応じたヒアリングを行いました。

協力事業者 101社

調査項目 売上高、景況見込、投資意欲、キャッシュレス決済の導入状況、行政施策の活用状況と効果 など

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

都 支 出 金	1,650,000円	一 般 財 源	1,650,000円
---------	------------	---------	------------

9 中小企業の感染防止対策への支援 12,226,000円 7,438,920円

＜中小企業感染防止対策支援事業費＞

「新しい生活様式」に対応するための感染防止対策を実施した中小企業者に対して、事業継続の支援と安心して利用できる環境整備を促進するために、令和2年度に引き続き、感染防止対策に要した費用の一部補助を行いました。

〔実績・内容〕

補助金名	三鷹市コロナに負けない環境づくり補助金
対 象 者	三鷹市感染症アドバイザーによる感染対策の動画を視聴し、感染対策を行った市内事業者
対象経費	令和3年4月1日から12月31日までの間に市内事業所等における感染拡大の防止対策に要した費用（パーティションの設置や空気清浄機の購入など）
補助金額	上限10万円（補助率2／3）
補助件数	95件

【財源内訳】

国 庫 支 出 金	6,164,000円	一 般 財 源	1,274,920円
-----------	------------	---------	------------

10 中小企業等への特別給付金の給付 61,419,940円 60,166,094円

＜中小企業等特別給付金給付事業費＞

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響が長期化する中、売上減少や資金繰り悪化等の影響を受けている市内中小企業等に対して、上限10万円の特別給付金を給付し、事業活動の継続を支援しました。

〔実績・内容〕

対 象 者	令和2年12月31日時点で市内に事業所を有する中小企業等（個人事業主を含む）で、令和2年1～12月の事業収入等が前年（元年1～12月）と比較して10%以上減少した者 ※創業間もない場合の特例要件あり
給 付 額	1事業者当たり上限10万円（事業収入等の減少額が10万円未満の場合はその額）
給付実績	支給金額 59,272,094円（593件）

【財源内訳】

国 庫 支 出 金	58,507,000円	一 般 財 源	1,659,094円
-----------	-------------	---------	------------



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

11 消費者活動センターのデジタル環境の整備 1,895,000円 835,437円

＜三鷹市消費者活動センター管理運営関係費＞

「新しい生活様式」に対応した消費者啓発の充実、消費者団体の活動支援を行うとともに、災害時の帰宅困難者一時滞在施設としての機能強化を図るため、消費者活動センター内のデジタル環境の整備に取り組みました。

〔整備内容〕

デジタル（Wi-Fi）環境、カメラ、マイク、スピーカー、液晶ディスプレイ、タブレット端末 など

【財源内訳】

都 支 出 金	391,000円	一 般 財 源	444,437円
---------	----------	---------	----------

12 消費者相談窓口の体制強化 264,000円 264,000円

＜消費者相談関係費＞

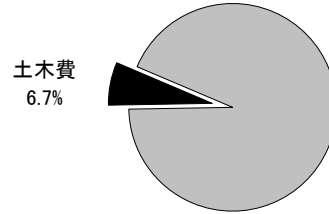
高齢化、デジタル化、国際化などの社会情勢を反映し、高度化、複雑化、多様化する消費者相談に迅速、かつ適切に対応するため、消費者相談員が弁護士から法的根拠や解釈等を交えた助言を直接受けられる体制を整備し、消費者相談の更なる体制強化と質の向上を図りました。事業の実施に当たっては、東京都の「消費者行政強化交付金」を活用しました。

【財源内訳】

都 支 出 金	132,000円	一 般 財 源	132,000円
---------	----------	---------	----------

# 第8款 土木費

## ■一般会計に占める割合

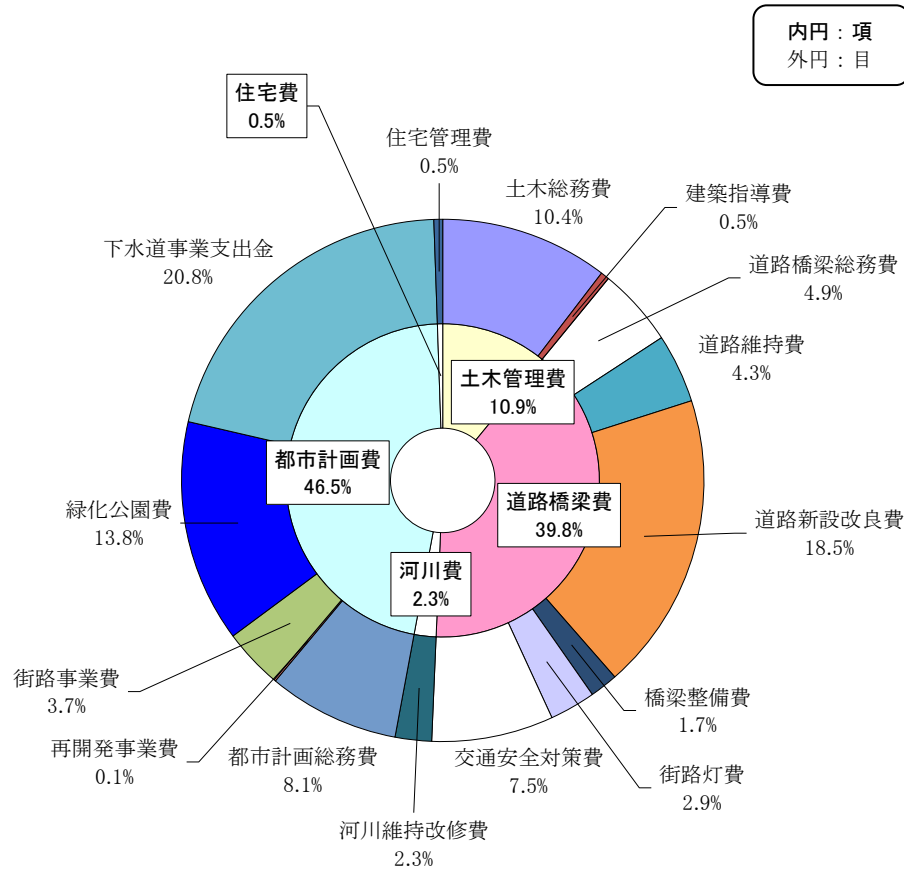


## ■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和3年度	5,641,664	5,235,643	820,469	351,000	110,486	3,953,688	92.8%
令和2年度	6,062,171	5,009,015	681,978	293,800	95,825	3,937,412	82.6%
増減	△420,507	226,628	138,491	57,200	14,661	16,276	—

## 決算額 項別目別構成比



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

## 道路橋梁費

### 1 交通安全施設の現況調査の実施 4,500,000円 4,400,000円

#### ＜交通安全施設維持管理費＞

市内の主要幹線道路及び交差点について、令和2年度に引き続き、交通安全施設の設置状況や路線の歩行環境等の点検・調査を行いました。令和3年度は、主に人見街道南側の施設等について点検・調査を行い、今後の事故防止対策の検討を進めるための基礎データをまとめました。

〔実績・内容〕

- ・交差点 48箇所  
形状、横断歩道・防護柵等の有無及び劣化・損傷等の確認を行いました。
- ・幹線道路 約20km  
歩道・防護柵等の有無、歩行者空間の支障物の確認及び自動車・歩行者の交通状況の調査を行いました。

### 2 生活関連経路におけるバリアフリー化の推進 5,858,000円 5,826,260円

#### ＜バリアフリーのみちづくり推進事業費＞

令和2年3月に改定した「三鷹市バリアフリーのみちづくり基本構想2022」において、重点整備地区に位置付けた生活関連経路について、安全な歩行空間を確保するための対策を実施しました。

〔実績・内容〕

- 対象路線 市道第469号線（吉祥寺通り～海上技術安全研究所）
- 整備内容 歩道の設置（西側約100mの北側部分）

### 3 路面下実態調査の実施 3,960,000円 3,938,000円

#### ＜路面下実態調査事業費＞

路面の陥没などを原因とした突発的な事故等の未然防止を図るため、今まで調査を実施していない交通量が多い路線について、路面下探査車による非破壊調査を実施しました。令和4年度までの2年計画で約22kmについて調査し、令和5年度以降は5年ごとに定期的な調査を実施することで、さらなる市道の保全と安全確保を図ります。

〔実績・内容〕

- 対象路線 中原京王通り、中本宿通り 等
- 調査範囲 道路延長 約11km

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

4 市道第178-9号線整備の促進 13,795,210円 13,795,210円

<市道第178-9号線整備事業費>

武蔵野市との行政境になっている市道第178-9号線（富士見通り）について、武蔵野市による拡幅整備が進められており、令和3年度は車道4.5m、歩道南北1.75mを幅員とする本整備を行い、三鷹市側（南側84.9m）に係る工事費を武蔵野市へ負担しました。

5 三鷹駅南口ペDESTリアンデッキの改修 140,929,800円 130,549,100円

<三鷹駅前デッキ改修事業費>

平成30年度に策定した「三鷹駅南口ペDESTリアンデッキ長寿命化修繕計画」に基づき、令和3年度は、1期デッキの化粧パネルを撤去した部分について、桁等の塗装等を実施したほか、令和4年度に実施予定の1期デッキの電気設備工事に向けた詳細設計を行いました。

[整備内容]

1期デッキ化粧パネル撤去部分・柱等の塗装、排水管取替、デッキと隣接ビル等との接続部取替

【財源内訳】

国庫支出金	7,700,000円	都支出金	31,150,000円
市債	78,000,000円	一般財源	13,699,100円

6 三鷹台駅前広場の整備の推進 344,991,900円 322,169,305円

<三鷹台駅前周辺地区整備事業費>

平成30年7月に策定した「三鷹台駅前周辺地区まちづくり推進地区整備方針」に基づき、令和3年度は、用地取得（527.64㎡）を行うとともに、令和4年度からの広場整備に向けた詳細設計を行いました。

【財源内訳】

都支出金	140,000,000円	市債	149,000,000円
一般財源	33,169,305円		

7 堀合地下道の改修 65,530,000円 63,360,000円

<堀合地下道改修事業費>

老朽化が進んでいる堀合地下道について、歩行者の通行の安全性や快適性を確保するため、令和2年度から2年計画で改修工事を進めており、令和3年度は、出入口の屋根等の再塗装や床面のすべり止め舗装等を行い、整備が完了しました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

都支出金	15,000,000円	市債	44,000,000円
一般財源	4,360,000円		

8 牟礼地区生活道路緊急安全対策の推進 2,924,000円 2,404,270円

＜牟礼地区生活道路緊急安全対策事業費＞

東八道路の延伸に伴う、交通量の増加や生活道路への車両の流入など道路環境の変化を踏まえ、歩行者等の通行の安全性や快適性を確保するため、交通量調査を実施し、令和2年度に行った「ゾーン30」の交通規制や安全対策工事の効果を検証するとともに、地域住民の意見を聴きながら必要な安全対策工事を行いました。

〔実績・内容〕

安全対策工事

- ・ポストコーン設置 18基
- ・看板設置 4箇所
- ・ボラード設置 2基

9 野崎二丁目東西道路の整備 63,763,100円 61,294,340円

＜野崎二丁目東西道路整備事業費＞

野崎地区で東西道路の不足を解消するため、用地取得と整備工事を行い、生活道路における通行の利便性向上を図りました。

〔実績・内容〕

- 用地取得 119.29㎡
- 整備工事 幅員 5m、延長 31.5m

【財源内訳】

都支出金	24,750,000円	市債	32,000,000円
一般財源	4,544,340円		

10 宮下橋の架け替えに向けた仮橋設置工事の実施 78,052,000円 51,020,200円

＜橋梁架替事業費＞

昭和25年しゅん工の宮下橋について、「三鷹市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき架け替えを行うため、架替工事に支障となる企業管を移設するための仮橋の設置工事を行いました。その後実施するガス管の移設については、地中埋設物（樹木根）の撤去等により仮橋設置工事の完成に時間を要し、年度内での完了が困難となったことから、繰越明許費を設定のうえ、令和4年度も引き続き行うこととしました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔繰越明許費繰越額〕

令和4年度への繰越分

物件補償費 16,600,000円

【財源内訳】

都支出金	12,500,000円	市債	23,000,000円
一般財源	15,520,200円		

11 街路灯の現況調査の実施 6,000,000円 5,247,000円

＜街路灯維持管理費＞

市内のポール式街路灯約2,400基について、近接目視や打音検査等により支柱の腐食等、異常の有無を調査しました。調査結果に基づき、緊急度を勘案しながら、令和4年度以降に計画的な改修を行っていきます。

12 自転車安全利用の推進 2,947,000円 2,062,885円

＜自転車安全利用推進事業費＞

自転車安全利用の推進を図るため、利用者の自転車点検・整備に対する意識向上に向けた取組を進めました。

〔実績・内容〕

- ・これまで小学3年生を対象に実施していた自転車点検を、新たに小学4～6年生の希望者も対象に拡充して実施しました。
- ・自転車安全講習会において、自転車点検・整備の啓発講話を実施しました。
- ・自転車点検のポイント等をまとめた動画を作成・公開するなどの新たな広報活動を行いました。

【財源内訳】

都支出金	82,000円	一般財源	1,980,885円
------	---------	------	------------

13 「三鷹市駐輪場整備運営基本方針」の推進 4,670,000円 4,419,095円

＜自転車等駐車施設管理運営費＞

平成29年度に策定した「三鷹市駐輪場整備運営基本方針」に基づき、禅林寺通り第1駐輪場を拡張し、新たに定期利用向けの駐輪場として整備しました。引き続き、様々な市民ニーズへの対応や利用実態に合わせた駐輪場の統廃合等を検討することで、持続可能で利便性の高い駐輪場の運営を進めていきます。

## 〔実績・内容〕

住 所	下連雀三丁目43番7号
開 設 日	令和3年8月1日（日）
収容台数	42台（原付定期利用） ※当初自転車利用を想定していましたが、利用実態に合わせて、 原付定期利用としました。
利用料金	3,000円／月（一般）、2,700円／月（学生）
管理方法	株式会社まちづくり三鷹による指定管理

## 14 みたかバスネットの抜本的な見直し

8,406,000円

6,776,268円

## ＜地域公共交通活性化協議会関係費、コミュニティバス関係費＞

コミュニティバスのあり方について、運行距離や運行間隔等の課題を踏まえ、利便性向上と地域活性化に繋がるよう、「三鷹市コミュニティバス将来的なあり方方針」を策定しました。また、同方針に基づき、令和4年度に実施する三鷹台・大沢地区の社会実験について、運行ルートや運行方法等の検討を行うとともに、北野ルートの実態調査を実施しました。

## 〔社会実験の概要〕

- ・ポンチョを利用した運行（三鷹台駅～杏林大学病院）
- ・環境に配慮した小型EV車両を利用した運行（三鷹台駅～明星学園折返し場）
- ・小型車両を利用したAIデマンド交通（大沢地区）

■ポンチョ（現在運行中の小型バス）



■小型EV車両のイメージ



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

15 三鷹駅南口駅前広場等の交通環境改善に向けた取組	4,151,000円	4,038,570円
----------------------------	------------	------------

＜三鷹駅南口駅前広場交通対策関係費＞

天候や時間帯等により、車両混雑が生じている三鷹駅南口駅前広場内の交通環境の改善に向け、令和2年度に実施したバス及びタクシー乗降場の再配置など、新しく運用したルールについて、効果の検証を行いました。また、中央通りの朝の時間帯におけるタクシー交通規制解除に向け、交通管理者との協議を進めました。



## 河川費

## 1 雨水貯留施設の設置と上部空間の公園・道路整備 170,485,600円 170,355,600円

＜雨水貯留施設整備事業費、市道第793号線整備事業費（道路橋梁費）、児童遊園整備事業費（都市計画費）＞

令和元年度より3年計画で進めている雨水貯留施設の整備が完了し、上部空間に防災機能を有した中原もみじ防災公園を整備するとともに、避難路の確保及び緊急車両のアクセス向上を目的とした道路を整備しました。

〔実績・内容〕

- ・雨水貯留施設  
貯留量 約1,260<sup>m</sup>（内空：幅約36m、奥行約14m、高さ約2.5m）
- ・中原もみじ防災公園  
敷地面積 約963<sup>m</sup><sup>2</sup>  
主な施設 かまどベンチ、災害時用簡易トイレ、水飲み場、シェルター、  
防災倉庫、非常電源付きソーラー照明、複合遊具
- ・市道第793号線の整備  
整備内容 延長92.3m L型側溝、雨水ますの設置

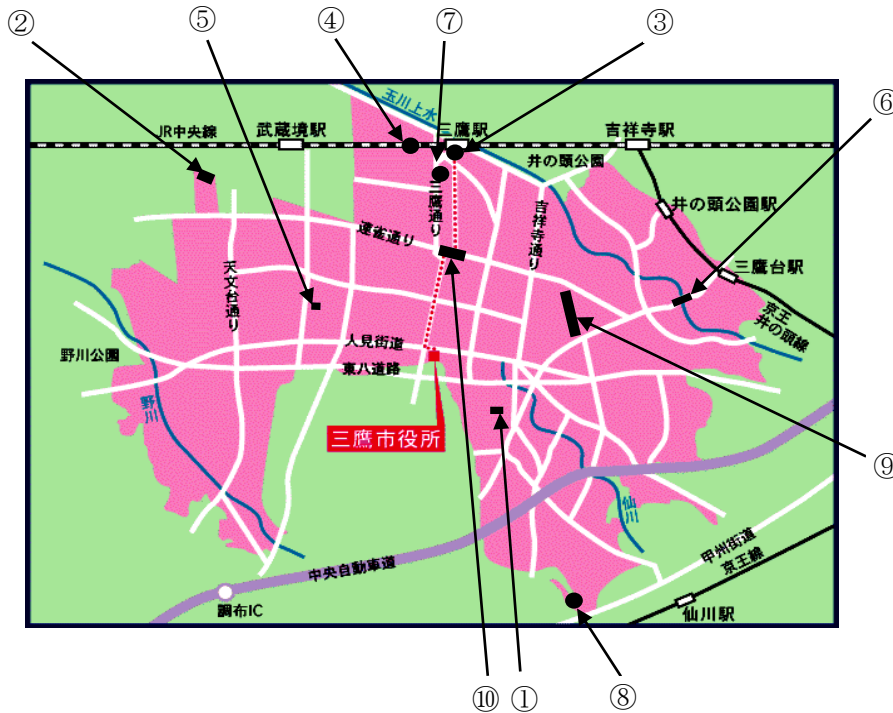
【財源内訳】

国庫支出金	28,000,000円	都支出金	13,000,000円
諸収入	42,637,020円	市債	25,000,000円
一般財源	61,718,580円		

■中原もみじ防災公園



## 令和3年度に取り組んだ主な道路・橋梁等の整備



## 【道路橋梁費】

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| ①市道第469号線        | 生活関連経路におけるバリアフリー化の推進  |
| ②市道第178-9号線      | 市道第178-9号線整備の促進       |
| ③三鷹駅南口ペデストリアンデッキ |                       |
|                  | 三鷹駅南口ペデストリアンデッキの改修    |
| ④堀合地下道           | 堀合地下道の改修              |
| ⑤野崎二丁目東西道路       | 野崎二丁目東西道路の整備          |
| ⑥宮下橋             | 宮下橋の架け替えに向けた仮橋設置工事の実施 |
| ⑦禅林寺通り第1駐輪場      | 「三鷹市駐輪場整備運営基本方針」の推進   |

## 【河川費】

- |              |                        |
|--------------|------------------------|
| ⑧中原一丁目雨水貯留施設 | 雨水貯留施設の設置と上部空間の公園・道路整備 |
|--------------|------------------------|

## 【都市計画費】

- |                |                         |
|----------------|-------------------------|
| ⑨都市計画道路3・4・13号 | 都市計画道路3・4・13号（牟礼）整備の促進  |
| ⑩都市計画道路3・4・7号  | 都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備の促進 |

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

## 都市計画費

1 用途地域等の見直し	15,481,000円	8,038,800円
-------------	-------------	------------

### ＜都市計画事業運営費＞

良好な都市環境を形成するため、土地利用の現況調査や用途地域等の見直しの検討などを実施し、地域特性にあわせた土地利用の推進を図りました。

〔実績・内容〕

- ・三鷹台駅前周辺地区の土地利用方針を策定し、駅前広場周辺の用途地域等の都市計画変更の手続きに着手
- ・東八道路沿道等（三鷹通りより東側）の土地利用現況調査の実施
- ・特定生産緑地の指定（256,810㎡）
- ・令和6年度の用途地域等の一括変更に向けた地形地物現況調査及び用途地域等の都市計画変更の方向性を定める「三鷹市用途地域等に関する指定方針及び指定基準」の改定

2 東京外かく環状道路整備に伴うまちづくりの推進	18,380,000円	15,950,860円
--------------------------	-------------	-------------

### ＜東京外かく環状道路計画調査研究関係費、安全・安心のまちづくり連絡協議会関係費、北野情報コーナー関係費＞

令和3年6月から北野情報コーナーの運営を開始し、地域のまちづくりや東京外かく環状道路事業等に係る情報の提供及び発信を行っています。また、北野の里（仮称）の具現化へ向けたエリアマネジメントを推進するため、地域懇談会やイベント等を通して地域主体のまちづくりを推進するとともに、東京外かく環状道路整備に伴う周辺道路の渋滞や生活道路への車両の流入等の課題解決に向けて、交通量等の調査を行いました。

〔実績・内容〕

- ・北野情報コーナーの運営  
開館時間 午前10時～午後6時（4月～10月）  
午前10時～午後5時（11月～3月）  
休館日 月曜日、木曜日、年末年始
- ・地域懇談会の開催 3回
- ・イベントの実施 3回（七夕、北野の文化親子探検、新春わくわく市）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

3 道路愛称名標識の多言語化の実施 14,795,000円 7,590,000円

＜案内・サイン多言語化事業費＞

三鷹市を訪れる外国人が観光しやすく、三鷹市在住の外国人も暮らしやすい魅力的なまちづくりを推進するため、4年計画の1年目として、道路愛称名標識の多言語化を行いました。実施に当たっては、(公財)東京観光財団の「区市町村観光インフラ整備支援補助金」を活用しました。

〔実績・内容〕

- ・表示上貼り 14箇所（上連雀地区等）
- ・撤去新設 15箇所（井の頭地区、三鷹駅周辺等）

【財源内訳】

諸収入	3,450,000円	一般財源	4,140,000円
-----	------------	------	------------

4 三鷹台駅前周辺地区のまちづくりの推進 3,000,000円 2,970,000円

＜三鷹台駅前周辺地区調査関係費＞

市の東部地区の玄関口にふさわしい魅力とにぎわいの創出に向けて、地域と市が連携してまちづくりを進めるため、地元町会、商店会、住民協議会等で構成する準備会において、組織体制や今後の進め方等を検討し、新たなまちづくり組織「三鷹台駅周辺のまちづくりを考える会」が発足しました。今後は、多様な団体と連携しながら、三鷹台駅前周辺地区のまちづくりを一体的に進めていきます。また、三鷹台駅周辺の利用者などにアンケート調査を実施し、現地の状況把握やまちづくりイメージを検討するための基礎資料の作成を行いました。

5 都市デザインアドバイザーを活用したまちづくり 1,954,000円 1,584,350円

＜都市デザインアドバイザー関係費＞

建築家隈研吾氏に都市デザインアドバイザーとして就任いただき、まちづくりに関する助言を得ながら、「緑と水の公園都市」を基礎とした魅力的なまちづくりを進めていくこととしました。令和3年度は、国際基督教大学と国立天文台において、“百年の森”のまちづくりをテーマに、今後のまちづくりについて市長と隈研吾氏による対談を実施し、その模様を動画配信しました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

6 三鷹駅前地区再開発の推進 8,101,000円 5,587,133円

＜三鷹駅前地区再開発事業運営費、三鷹駅南口中央通り東地区市街地再開発事業費＞

三鷹駅前地区（約17ha）を対象とする「新三鷹駅前地区再開発基本計画（仮称）」の策定に向けて、課題や要望等を把握し、計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査等の意向調査を実施しました。なお、「三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業に関する基本プラン（仮称）」を令和3年度に策定する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により計画の検討等に時間を要し、地権者との合意形成に至らなかったため、スケジュールを見直し、令和4年度に策定することとしました。

7 都市計画道路3・4・13号（牟礼）整備の促進 48,437,000円 45,695,059円

＜都市計画道路3・4・13号（牟礼）整備事業費＞

三鷹都市計画道路3・4・13号の人見街道から連雀通りまでの区間（約466m）を整備するため、令和3年度は用地（96.04㎡）の取得を行いました。また、対象路線に接続する東京都施行の優先整備路線の完成を考慮し、交差点形状と信号機の設置について修正設計を行うため、交通管理者と協議を行いました。

〔実績・内容〕

令和3年度末の取得面積及び取得率 6,781.91㎡（93.89%）

【財源内訳】

国庫支出金	18,500,000円	都支出金	9,250,000円
一般財源	17,945,059円		

8 都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備の促進 157,485,000円 146,041,500円

〔うち令和2年度からの繰越分 59,980,000円 59,980,000円〕

＜都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備事業費、同事業費（繰越明許費執行額）＞

連雀通りの三鷹市八幡前交差点から下連雀七丁目交差点付近までの区間（約235m）について、東京都の「第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業」を活用し、令和元年度より進めているボックスカルバートの撤去工事が完了しました。また、北側拡幅分の電線共同溝及び街築工事に着手する予定でしたが、隣接する東京都施行区間の設計変更に合わせてスケジュールを見直し、令和4年度からの2年計画で実施することとしました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

都支出金	143,548,210円	一般財源	2,493,290円
------	--------------	------	------------

9 借地公園の公有地化の推進 299,775,600円 283,093,240円

＜児童遊園整備事業費、都市公園整備事業費＞

児童遊園等の公園用地を取得し、公有地化を図りました。

〔実績・内容〕

- ・新川天神山青少年広場（4年計画の2年目）

所在地 新川二丁目

取得面積 1,130㎡

- ・北野公園

所在地 北野三丁目

取得面積 326.79㎡

【財源内訳】

国庫支出金	77,940,000円	都支出金	54,132,000円
-------	-------------	------	-------------

一般財源	151,021,240円
------	--------------

■新川天神山青少年広場



■北野公園





事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

10 丸池かいぼりの実施	2,000,000円	1,994,300円
--------------	------------	------------

＜都市公園整備事業費＞

丸池の里わくわく村開村20周年を記念したかいぼり事業を実施しました。花と緑のまち三鷹創造協会と連携しながら生態調査等を実施後、近隣小学校のおやじの会等も参加し、専門家の指導のもと生物を調査・保護したうえで、汚泥の撤去、清掃等を行いました。また、注水等を終えた池に、保護した生物を放流しました。

〔実績・内容〕

- ・かいぼり 令和3年11月14日（日）
- ・放流式 令和3年12月12日（日）

■放流式



令和3年度に取り組んだ主な公園の整備

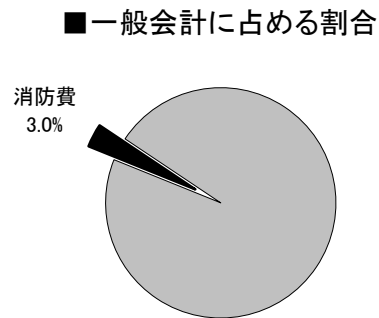


【都市計画費】

- ①新川天神山青少年広場 借地公園の公有地化の推進
- ②北野公園 借地公園の公有地化の推進



## 第9款 消防費



### ■ 予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和3年度	2,383,303	2,333,220	251,538	0	1,300	2,080,382	97.9%
令和2年度	2,288,357	2,254,979	214,135	0	342	2,040,502	98.5%
増減	94,946	78,241	37,403	0	958	39,880	—

事業名 < 事項名 > 及び事業概要	予算現額	決算額
--------------------	------	-----

### 消防費

- 1 消防団活動用無線機の更新による地域防災力の充実強化 5,351,000円 4,371,840円  
 <消防団運営費>

消防団で使用している活動用無線機について、令和4年11月にアナログ波が終了することから、機器の更新にあわせて配備を拡充し、より緊密な情報連携を行うための環境を整備しました。

[実績・内容]

	拡充前	拡充後	拡充後内訳
本 団	4台	4台	団長1、副団長3
分 団	3台×10分団	6台×10分団	分団長・副分団長・部長各1、班長3
計	34台	64台	

【財源内訳】

国庫支出金 1,363,000円 一般財源 3,008,840円

事業名 < 事項名 > 及び事業概要	予算現額	決算額
--------------------	------	-----

2 多様な訓練の実施による公助の強化 200,000円 0円

<防災訓練費>

災害時における公助の取組強化を図るため、災害対策本部運営訓練として市職員の初動対応訓練の実施、関係機関連携訓練として新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた災害時医療救護所の開設・運営訓練の実施を予定していましたが、いずれも感染拡大の影響により延期することとしました。

3 災害時緊急情報配信サービスの導入 706,000円 577,500円

<防災通信体制整備事業費>

災害時における市民の安全確保をより一層確実なものとするため、携帯電話やスマートフォンを所持しておらず、浸水エリア内に居住している避難行動要支援者に対して、事前登録した固定電話やファックスに避難情報などを一斉配信する「災害時緊急情報配信サービス」の運用を令和3年6月から開始しました。

[実績・内容]

対象者	次の要件を満たす市民 ・携帯電話・スマートフォンを所持していないこと ・浸水エリア内に居住している避難行動要支援者であること
情報配信の流れ	①災害が発生するおそれ ②防災課職員が専用サイトにメッセージ入力・一斉配信 ③電 話：受話器を取るとメッセージが自動音声で流れる FAX：メッセージを受信・印刷
登録者数	35人（令和4年3月末時点）

4 防災行政無線のスピーカー更新による難聴対策の実施 4,708,000円 4,708,000円

<防災通信体制整備事業費>

野川浸水想定区域内に設置している防災行政無線について、均一で明瞭な音声を伝えることに優れたスピーカーに改修し、難聴地域の解消及び音達状況の改善に取り組みました。

[実績・内容]

改修箇所 大沢地区のマスト3本に設置されたスピーカー9基のうち6基  
音達改善 音達距離 改修前：約250m～350m → 改修後：約300m～700m

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

5 避難所備蓄資機材の拡充による被災者支援対策の強化 27,296,000円 25,343,120円

<災害対策備蓄等整備事業費>

避難所生活に必要な備蓄として、大規模停電に備えた蓄電池とソーラーパネルを各コミュニティ・センターに配備しました。また、避難所の環境整備のため、多目的簡易ベッドを配備したほか、感染症対策として排泄物を自動で密封できるトイレを各避難所に配置し、被災者支援の強化を図りました。

〔実績・内容〕

	蓄電池・ソーラーパネル	多目的簡易ベッド	自動ラップ式トイレ
設置場所 (設置数)	コミュニティ・センター (7箇所、各1台)	福祉避難所 (2箇所、各6台) 本部倉庫 18台	避難所 (33箇所、各2台)
運用方法	自主防災組織に対して 現物供与	各福祉避難所に設置 〔運用方法は有症者を優先 する等、各避難所で判断〕	一般用と有症者用の動線を 分け、テント内に設置

【財源内訳】

都 支 出 金	12,671,000円	一 般 財 源	12,672,120円
---------	-------------	---------	-------------

6 要配慮者支援と避難先の拡充 6,476,000円 1,769,246円

<災害対策備蓄等整備事業費>

福祉避難所に対するニーズが高まっていることに加え、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として多くの避難スペースが必要であることから、介護が必要な高齢者や障がい者など要配慮者のために避難方法の変更や避難先の拡充を図るとともに、備蓄品の充実に取り組みました。

〔実績・内容〕

- ・通所者やショートステイ等の福祉施設利用者が、発災直後から普段利用している施設に直接避難できるよう避難方法を変更  
令和4年3月末時点協定締結施設 12施設
- ・福祉避難所の拡充  
令和4年3月末時点 28施設（前年度比5施設増）
- ・5箇所の福祉避難所に備蓄品を配備  
飲料水、おかゆ、アルファ米、毛布、携帯トイレ 等

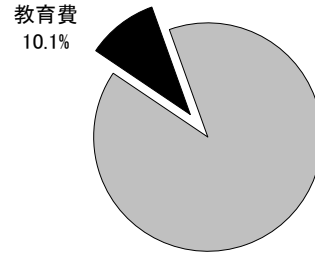
【財源内訳】

都 支 出 金	280,000円	一 般 財 源	1,489,246円
---------	----------	---------	------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
<b>7 地域の共助の強化等による防災力の向上</b>	1,907,000円	1,879,141円
＜災害時在宅生活支援施設整備事業費＞ 災害時に在宅で被災生活を行う市民を支援し、地域の共助の強化を図るため、生活支援施設として深大寺地区公会堂（深大寺一丁目）に炊き出し用設備や組立トイレ、スタンドパイプ等を配備しました。 〔関連事業費〕 土木費 災害時在宅生活支援施設に関連する公園へのかまどベンチ設置 (堀合児童公園 3基、東野児童公園 2基) 6,380,000円		
<b>8 防災NPO組織の設立に向けた取組</b>	3,852,000円	3,165,354円
＜地域防災活動支援組織関係費＞ 地域における防災活動の充実・強化を目的として、「共助」をネットワーク化するための中核組織となる「防災NPOみたか（仮称）」の設立に向けた取組を進めています。令和3年度は、令和4年9月の設立に向けて設立準備委員会を設置し、組織の活動理念や活動内容、組織体制や役割などについて検討を行いました。		

# 第10款 教育費

■一般会計に占める割合

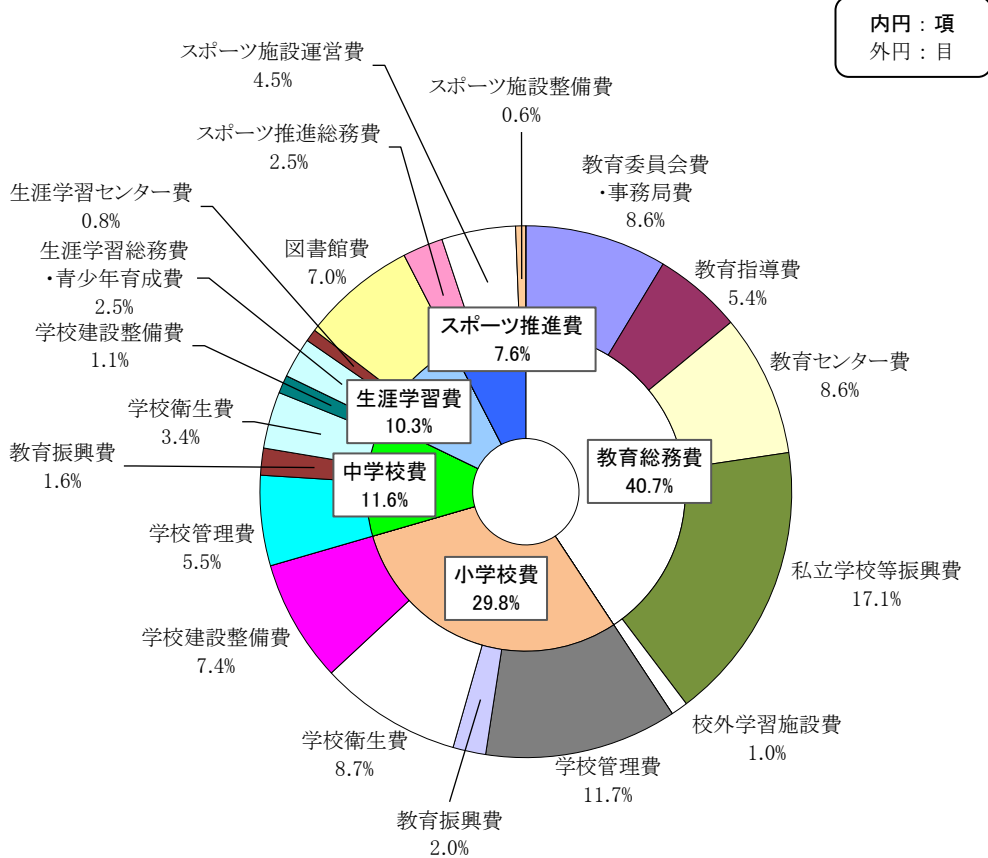


■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和3年度	8,565,659	7,904,497	1,287,473	333,400	262,401	6,021,223	92.3%
令和2年度	9,668,304	8,407,617	1,876,788	695,600	303,684	5,531,545	87.0%
増減	△1,102,645	△503,120	△589,315	△362,200	△41,283	489,678	—

決算額項別目別構成比



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

**教育総務費**

**1 学校給食用食材の放射性物質検査の実施** 387,000円 386,730円

＜学校給食関係費（事務局費）＞

児童・生徒や保護者の一層の安心のため、給食用食材の放射性物質検査を全市立小・中学校で実施（各校1回）し、いずれも放射性物質は検出されませんでした。

〔実績・内容〕

検査日	令和3年6月30日～7月8日	令和3年12月7日～9日
検査対象校	小学校（9校）、中学校（4校）	小学校（6校）、中学校（3校）
検査品目	検査対象校の児童及び生徒に提供した給食一食分（牛乳を含む）	検査対象校の児童及び生徒に提供した給食一食分（牛乳を含む）

**2 学校給食の充実と効率的な運営の推進** 592,539,000円 592,437,222円

＜給食調理業務委託化等関係費、学校給食関係費（小学校費・中学校費）＞

学校給食の充実と効率的な運営を推進するため、新たに高山小学校で自校方式による学校給食調理業務の民間委託を実施し、委託校は20校となりました。

また、令和4年度から新たに委託を開始する第三中学校と、5年目の更新時期を迎える大沢台小学校、南浦小学校、東台小学校、第一中学校、第五中学校については、プロポーザル方式による選考を実施し、事業者を決定しました。

〔債務負担行為の内容〕

学校給食調理業務委託事業

- 第三中学校（令和4年度＜債務負担分＞26,664,000円）
- 大沢台小学校（令和4年度＜債務負担分＞24,288,000円）
- 南浦小学校（令和4年度＜債務負担分＞37,626,600円）
- 東台小学校（令和4年度＜債務負担分＞28,991,600円）
- 第一中学校（令和4年度＜債務負担分＞33,673,200円）
- 第五中学校（令和4年度＜債務負担分＞26,692,600円）

**3 小・中学校でのPCR検査の支援** 7,458,000円 1,298,790円

＜PCR検査助成事業費＞

小・中学校において、児童・生徒及び教職員等が感染した場合、濃厚接触者等に該当しなくても感染の不安を感じている児童・生徒や教職員等に対して、PCR検査費用の助成を行うとともに、速やかに検査が受けられるよう、検査キットを各校及び教育センターに配備しました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

(1) 医療機関が実施する任意のPCR検査への助成

対象者 医療機関が実施する任意のPCR検査を実施した方のうち、以下の要件を満たす方

- ・感染が発生した学級の児童・生徒、教職員等
- ・濃厚接触者等に該当しないこと
- ・検査を希望し、かつ学校が必要と認める場合

対象施設 全市立小・中学校

対象期間 感染が発生してから概ね2週間以内

補助額 検査費用を対象に上限2万円

利用実績 14人

(2) 小・中学校等におけるPCR検査キットの導入

対象者 (1)と同様

配備施設 全市立小・中学校及び教育センター

利用方法 唾液の自己採取による検査

利用実績 34人

〔関連事業費〕

民生費 保育施設及び幼稚園等でのPCR検査の支援 153,681円  
(112ページ参照)

4 学校における働き方改革の推進 27,238,579円 16,663,273円

(1) 副校長業務支援員の増配置 26,458,579円 16,240,773円

＜学校マネジメント強化モデル事業費＞

副校長の業務を支援し、調整・報告、サービス管理、施設管理等を行う「副校長業務支援員」の配置校を7校から9校に拡充し、学校運営や教員指導等に集中できる環境を整備することで教員の負担軽減を図りました。実施に当たっては、東京都の「学校マネジメント強化モデル事業補助金」を活用しました。

【財源内訳】

都支出金 16,237,648円 一般財源 3,125円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
(2) 学校における労働安全衛生管理体制の強化 ＜教育委員会事務局運営費＞	780,000円	422,500円
<p>令和2年度に制定した「三鷹市立学校教職員労働安全衛生管理規則」に基づき、産業医を選任し、長時間労働の実績があり、希望する教員に対して対面またはオンラインでの面接指導等を行うとともに、産業医による職場巡視を行うなど、労働安全衛生管理体制を強化し、組織的に教職員の健康確保に努めました。</p> <p>[実績・内容]</p> <p>面談人数 5人 職場巡視 4校</p>		
5 「三鷹教育・子育て研究所」における今後の三鷹市の教育の方向性の検討 ＜三鷹ネットワーク大学等連携事業費＞	2,121,000円	2,120,416円
<p>令和2年度に設置した「三鷹のこれからの教育を考える研究会」において、これからの目指すべき教育の方向性や取り組むべき事項などについて検討し、令和3年8月に最終報告として提言を取りまとめました。また、11月に教育委員会として最終報告を踏まえた「当面の教育施策の推進に関する基本的な考え方」を策定しました。</p> <p>[主な提言事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人と社会のウェルビーイングの実現</li> <li>・個別最適な学びを含む一人ひとりを大切にする教育</li> <li>・スクール・コミュニティの創造</li> </ul>		
6 スクール・コミュニティの創造に向けた取組と「三鷹教育フォーラム2021」等の開催	19,890,000円	16,572,530円
<p>＜コミュニティ・スクール関係費＞</p> <p>三鷹市のこれからの教育の中核となるスクール・コミュニティの創造に向けて、地域で横断的な活動を進めるため、スクール・コミュニティ推進会議を設置しました。また、「三鷹教育フォーラム2021」等を開催し、これまでの取組や今後の目指す方向性等について、全国に発信しました。</p>		



## 〔実績・内容〕

## ・スクール・コミュニティ推進会議の設置

市内の関係団体からなるスクール・コミュニティ推進会議を設置し、令和3年6月に第1回目の会議を開催しました。また、同会議の幹事会を令和3年10月と令和4年2月に開催し、関係者間の情報共有を図るとともに、取組事例集を作成しました。

## ・「三鷹教育フォーラム2021」等の開催

「三鷹教育フォーラム2021」（「全国コミュニティ・スクール研究大会」、「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」と同時開催）をオンラインで開催しました。

開催日 令和3年11月6日（土）

内容 ・基調講演（東京大学・慶應義塾大学教授 鈴木寛氏）  
・分科会①（実践事例発表）  
・分科会②（三鷹市コミュニティ・スクール実践発表）

当日視聴者 延べ1,982人（アーカイブ視聴者数 延べ8,837人（令和4年5月末時点））

## ・学園歌CDの制作

三鷹市のコミュニティ・スクールの取組による成果をPRし、全国にコミュニティ・スクールを広げるツールの一つとして、全7学園で学園歌CDを制作しました。

## 【財源内訳】

都支出金 4,727,433円

一般財源 11,845,097円

## ■三鷹教育フォーラム2021



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

7 地域・子どもの居場所づくりと担い手の創出（「みんなの居場所」創出プロジェクト）

10,498,000円 8,863,779円

＜コミュニティ・スクール関係費、みたかジュニアビレッジ関係費＞

スクール・コミュニティの創造に向け、学校3部制の実現を通じた地域・子どもの多様で豊かな学び場・遊び場、居場所づくりを進めるため、普通教室の機能転換を図るほか、農業を題材とした放課後プログラム事業を実施しました。実施に当たっては、東京都の「子供・長寿・居場所区市町村包括補助金」を活用しました。

〔実績・内容〕

・普通教室の機能転換

学校教室を放課後等の時間に機能転換して地域・子どもの居場所として活用できるよう、第六小学校の3教室の既存ロッカーを撤去し、シャッター付きロッカーを設置しました。

・放課後プログラム事業「みたかジュニアビレッジ」

多様な地域団体等と連携しながら、第四中学校の生徒がサツマイモを栽培・収穫するとともに、そのサツマイモを使った商品の企画・開発を行い、完成したロールケーキ「ゆないも」を令和4年3月に「みたかスペースあい」で販売しました。また、1年間の振り返りとして事業報告会を行いました。

【財源内訳】

都 支 出 金 8,863,779円

8 教育支援の充実 23,291,000円 20,342,228円

＜適応支援教室関係費＞

適応支援教室A-Roomにおいて、通室する児童・生徒の発達段階や実態に応じたきめ細かな支援を行うため、第一中学校内の教室を1教室拡張するとともに、非常勤教員及び学習指導員を各1人増員しました。また、支援が必要な児童・生徒の的確な把握、在籍校と適応支援教室の連携した取組を行い、組織的・計画的な支援を実施しました。

〔実績・内容〕

学校復帰等に向けて支援した児童・生徒数

入室者数 小学生32人（前年度比20人増）

中学生63人（前年度比6人増）

【財源内訳】

都 支 出 金 3,159,028円 一 般 財 源 17,183,200円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
<b>9 民間プログラムを活用した道徳教育の推進</b> <探究的教育関係費> 児童の人間力・社会力を育成するため、全小学校において、民間プログラムを活用した道徳教育を推進しました。 [実績・内容] 夢を描く・問題を解決するなど12のテーマから、将来のために必要なスキルを身につけるための授業を行いました。	750,000円	750,000円
<b>10 人権尊重教育推進校事業の実施</b> <人権尊重教育推進校事業費> 人権課題に関わる差別意識を解消するため、第六中学校において、公開授業や研究発表等を実施し、人権教育を推進しました。また、市立小・中学校全校向けにオンラインで中間発表を行い、研究成果の普及を図りました。実施に当たっては、東京都の「人権尊重教育推進校事業委託金」を活用しました。 [実績・内容] 研究テーマ 「他者との関わりの中で、自分らしさを出すことのできる学校」 <b>【財源内訳】</b> 都 支 出 金            349,726円	357,000円	349,726円
<b>11 授業改善推進拠点校事業の実施</b> <授業改善推進拠点校事業費> 国や東京都の学力調査を関連付けて、効果的な分析方法や児童・生徒一人ひとりの学びに向かう力等を育む指導方法の開発及び実践等に向けて、第五中学校において、効果的な分析方法・指導方法の開発や実践に取り組みました。実施に当たっては、東京都の「授業改善推進拠点校事業費補助金」を活用しました。 <b>【財源内訳】</b> 都 支 出 金            396,000円                    一 般 財 源            536円	400,000円	396,536円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

12 学習用端末等の活用 287,655,000円 282,726,790円

＜学習用端末等整備事業費＞

児童・生徒1人1台学習用タブレット端末について、児童・生徒数の増加に伴い、端末を300台増設するとともに、端末の利用中において、充電不足に対応できるように、モバイルバッテリーを配置しました。また、国の「公立学校情報機器整備費補助金」及び東京都の「公立学校情報機器整備支援事業補助金」を活用して、各学園に端末導入支援員を配置し、端末の操作方法のサポートやアップデートなど、円滑に利活用できるように支援しました。

〔債務負担行為の内容〕

学習用端末等使用料（令和3年度分） 7,288,710円

（令和4～7年度＜債務負担分＞27,331,920円 全体事業費34,620,630円）

【財源内訳】

国庫支出金	3,643,000円	都支出金	13,900,000円
一般財源	265,183,790円		

13 認可外幼児施設等利用補助金の拡充 19,200,000円 4,580,000円

＜私立幼稚園等児童保護者助成事業費＞

認可外幼児施設に通う保育の必要がない3～5歳児の保育料について、幼児教育・保育の無償化の対象外となっており、これまで市の単独助成を行っていましたが、国及び東京都の補助制度が創設されたことから、利用助成の拡充を行い、保護者負担の軽減を図りました。

〔実績・内容〕

利用助成額（上限） 拡充前 月額 4,700円

拡充後 月額 20,000円

対象者 27人（延べ229人）

【財源内訳】

国庫支出金	1,526,000円	都支出金	1,526,000円
一般財源	1,528,000円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

14 川上郷自然の村の運営支援	14,168,000円	10,936,546円
-----------------	-------------	-------------

＜川上郷自然の村管理運営費＞

緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置を踏まえた臨時休業に伴い、夏季の団体利用をはじめとする利用者数が減少したことに加え、中学校自然教室の中止等により、利用料金収入が減少したため、減収相当分を補填し、指定管理者による今後の施設運営の継続を支援しました。

〔実績・内容〕

臨時休業期間	令和3年4月25日（日）～9月30日（木） 令和4年1月21日（金）～3月21日（月・祝）
年間利用者数	5,789人
年間利用率	30.1%

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

### 小学校費・中学校費

- 1 中学校における防災用ヘルメットの整備 5,443,000円 5,417,940円  
 ＜学校管理運営費（中学校費）＞

地域防災活動の担い手として活躍が期待される市立中学校在籍生徒が、災害発生時等に安全に避難し、地域防災活動に参加できるように、生徒の防災用のヘルメットを全市立中学校に配備しました。また、各住区の防災訓練など、地域防災活動に参加しました。

〔実績・内容〕

対象者 全市立中学校の在籍生徒  
 配備数 3,820個

- 2 学校施設長寿命化計画（仮称）策定と大規模改修工事等の推進

218,929,299円 214,940,300円

＜学校管理運営費（小学校費）、長寿命化計画策定関係費（小学校費・中学校費）、大規模改修事業費（小学校費・中学校費）＞

「新都市再生ビジョン（仮称）」の中で策定することとした「学校施設長寿命化計画（仮称）」について、令和4年度の策定に向け、施設整備の優先順位の検討などを行いました。

また、平成30年度に実施した老朽化対策調査結果を踏まえ、早急に対応が必要な箇所として、第五小学校の大規模改修工事（I期）及び第二中学校の大規模改修工事に向けた設計業務を実施しました。第五小学校については、森林環境譲与税等を活用し、多摩産材の木製ロッカーを11教室（22台）に導入しました。

〔関連する歳入〕

森林環境譲与税15,713,000円のうち教育費分 5,719,000円

【財源内訳】

国庫支出金	31,824,000円	都支出金	47,281,000円
市債	106,400,000円	一般財源	29,435,300円

- 3 中学校の修学旅行延期等に伴うキャンセル料の公費負担 21,386,593円 20,497,708円  
 ＜修学旅行関係費（中学校費）＞

緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置を踏まえ、中学校の修学旅行を第五中学校及び第六中学校は延期、その他の中学校は中止することとしました。延期及び中止により発生したキャンセル料は全額公費負担しました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

4 学校空調設備の体育館への整備と計画的な更新	216,539,900円	148,578,053円
〔うち令和2年度からの繰越分	142,928,900円	94,050,000円〕

＜学校空調設備整備事業費（小学校費・中学校費）、同事業費（繰越明許費執行額（小学校費））＞

夏季の熱中症対策を含めた環境整備、避難所としての機能強化を図るため、小学校12校の体育館に空調設備を整備しました。このことにより、全ての小・中学校の体育館について空調設備の整備を完了しました。また、老朽化した空調設備の更新として、高山小学校の改修工事（Ⅱ期）及び第一小学校の改修工事に向けた設計業務を実施するとともに、第四小学校等の特別教室の改修工事を実施しました。

〔実績・内容〕

・体育館空調設備の整備

工事によるGHP方式の整備

第五中学校（令和2年度整備済み）

リース方式による整備 46,570,653円

スポット（電気）方式（令和元年度整備済み） 1,689,768円

第三小学校

GHP（都市ガス）方式（令和2年度整備済み） 28,373,885円

第五小学校、第六小学校、第一中学校、第二中学校、第三中学校、第四中学校、第六中学校、第七中学校

GHP（LPガス）方式（令和3年度整備） 3,265,420円

南浦小学校、中原小学校

スポット（電気）方式（令和3年度整備） 13,241,580円

第一小学校、第二小学校、第四小学校、第七小学校、大沢台小学校、高山小学校、北野小学校、井口小学校、東台小学校、羽沢小学校

※リース方式では、東京都から事業者へ直接補助金が交付されるため、市は、都補助金相当額を控除した額を支出しました。

・高山小学校空調設備改修（Ⅱ期）工事 94,050,000円

・第一小学校空調設備改修工事設計業務 7,370,000円

・特別教室空調設備の改修工事 587,400円

第七小学校（令和2年度整備済み）

第四小学校、中原小学校、北野小学校、羽沢小学校、第四中学校（学校図書館5室、音楽室3室）（令和3年度整備）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔債務負担行為の内容〕

- ・ 小学校体育館空調設備使用料（電気式） 13,241,580円  
（令和4～8年度＜債務負担分＞93,817,020円 全体事業費107,058,600円）
- ・ 小学校体育館空調設備使用料（LPガス式） 3,265,420円  
（令和4～13年度＜債務負担分＞49,871,580円 全体事業費 53,137,000円）
- ・ 学校特別教室空調設備使用料  
（令和4～13年度＜債務負担分＞51,202,800円 全体事業費 51,202,800円）

【財源内訳】

国庫支出金	25,963,000円	繰越金	17,087,000円
市債	51,000,000円	一般財源	54,528,053円

5 学校トイレ改修工事の実施 138,155,000円 107,085,000円

〔うち令和2年度からの繰越分 138,155,000円 107,085,000円〕

＜学校給排水設備等整備事業費（繰越明許費執行額（小学校費・中学校費））＞

学校トイレの早期洋式化を推進するため、第六小学校、北野小学校、第四中学校について、老朽化状況に応じたトイレ改修工事を行いました。令和2年度からの繰越事業として実施し、国庫補助金を確実に確保するとともに、東京都の補助金も活用しながら、快適な学校環境の整備を図りました。

〔実績・内容〕

- 第六小学校（中央校舎） 25,300,000円  
洋式化（便器のみ交換）等
- 北野小学校（校舎） 36,300,000円  
洋式化（便器のみ交換）等
- 第四中学校（校舎Ⅱ期） 45,485,000円  
洋式化、床のドライ化、バリアフリー化等  
多目的トイレの整備

【財源内訳】

国庫支出金	10,424,000円	都支出金	10,789,000円
繰越金	21,772,000円	市債	64,100,000円



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
<b>6 第七小学校校庭拡張による良好な教育環境の整備</b> <b>＜第七小学校拡張用地整備事業費（小学校費）＞</b> 平成29年度に三鷹市土地開発公社が先行取得した第七小学校東側校庭用地（376.87㎡）を買い戻し、既存のフェンスや樹木の撤去・新設及び門の新設、グラウンドの整備等の工事を実施し、教育環境を整備するとともに、緊急時に緊急車両が出入りできるよう、防災機能の強化を図りました。	140,327,000円	139,946,038円
<b>【財源内訳】</b> 市 債 111,900,000円	一 般 財 源 28,046,038円	

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

**生涯学習費**

1 三鷹跨線人道橋調査の実施 1,200,000円 1,199,000円

＜歴史・民俗等文化財関係費＞

三鷹跨線人道橋について、その廃止に伴う一部譲渡、一部保存及び調査・記録保存の円滑な推進を図るため、令和4年1月に、JR東日本と三鷹市との間で「中央線三鷹・武蔵境間三鷹こ線人道橋の廃止に伴う一部譲渡に関する覚書」を締結しました。多くの市民に親しまれている風景等を後世に継承するため、跨線橋に関する歴史や写真等の記録調査及び太宰治ゆかりの遺構としての記録作成を実施しました。

2 大沢の里郷土文化施設の駐車場等整備に向けた取組 3,771,000円 3,415,720円

＜大沢の里水車経営農家関係費、大沢の里古民家管理運営費＞

大沢の里郷土文化施設における駐車場等の整備に向けて、測量等の現況調査を行いました。また、大沢の里水車経営農家の老朽化が進んでいることから、早急に工事が必要な箇所については補強工事を実施するとともに、令和4年度以降の計画的な工事の実施に向けて、劣化調査等を行いました。実施に当たっては、東京都の「文化財保存事業費補助金」を活用しました。

【財源内訳】

都支出金	1,377,000円	一般財源	2,038,720円
------	------------	------	------------

3 キャンプリーダー育成事業の実施 76,000円 56,128円

＜キャンプリーダー育成事業費＞

青少年の健全育成を推進するため、デイキャンプ実施時に小学生の指導者となるキャンプリーダー育成のための講習会を実施しました。デイキャンプについては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止としました。

〔実績・内容〕

講習会 4回  
参加者 12人

〔関連事業費〕

民生費 多世代交流センター自然体験活動事業費 49,552円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

#### 4 第六小学校における学童保育所分室と連携した地域子どもクラブ事業の拡充

＜地域子どもクラブ事業費＞ 46,573,000円 34,420,470円

第六小学校で実施している地域子どもクラブにおいて、一部民間委託方式を導入し、開放場所の拡充や教室開放を毎日行うとともに、安全・安心な子どもの居場所づくりを確保するため、入退室システムを導入しました。また、放課後の子どもの居場所づくりとして、隣接する学童保育所分室との連携事業の手法等について検討しました。

〔実績・内容〕

参加児童数 15,563人（前年度比5,983人増）

開催日数 199日

〔関連事業費〕

民生費 六小学童保育所A分室指定管理料 17,300,000円

【財源内訳】

都支出金	13,766,000円	一般財源	20,654,470円
------	-------------	------	-------------

#### 5 生涯学習センターにおけるオンライン決済の導入とオンライン会議ツールの使い方講座の開催

64,632,000円 59,593,317円

＜生涯学習センター管理関係費＞

新型コロナウイルス感染症拡大防止と利用者の利便性向上を図るため、生涯学習センターで行う講座の受講料について、オンライン決済を導入するとともに、初級者と中級者向けにオンライン会議ツールの使い方講座を開催しました。また、指定管理者の指定期間が令和3年度で終期を迎えることから、指定管理者の指定の手続を行いました。

〔実績・内容〕

- ・「はじめてみよう！Zoomオンライン入門講座」（初級編）

実施日 ①令和3年4月20日（火）、27日（火）

②令和3年5月7日（金）、14日（金）

受講者数 76人（①36人、②40人）

- ・「これから始める！Zoomオンライン活用講座～Zoomを使った操作と対話のスキルアップ～」（中級編）

実施日 令和3年5月21日（金）

受講者数 19人

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔債務負担行為の内容〕

生涯学習センター指定管理料

(令和4～8年度＜債務負担分＞)

※「公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団」が引き続き指定管理者となりました。

【財源内訳】

使用料手数料	4,492,000円	都支出金	403,000円
一般財源	54,698,317円		

6 市立図書館における電子書籍サービスの提供 2,145,000円 2,144,794円

＜図書館システム関係費＞

「新しい生活様式」に対応した図書館のあり方として、電子書籍サービスの電子書籍数を拡充し、利用者の利便性向上を図りました。

〔実績・内容〕

電子書籍数 1,804点（うち令和3年度拡充分319点）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

### スポーツ推進費

- 1 中学校における夜間照明設備LED化工事の実施 22,958,960円 21,235,096円

#### ＜学校体育施設開放事業費＞

老朽化が進んでいる中学校の夜間照明について、第一中学校の校庭及び第六中学校のテニスコートの一部のLED化工事を実施し、省エネルギー等によるランニングコストの削減及び施設使用環境の向上を図りました。実施に当たっては、独立行政法人日本スポーツセンターの助成金を活用しました。

#### 【財源内訳】

諸 収 入	12,566,000円	一 般 財 源	8,669,096円
-------	-------------	---------	------------

- 2 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に伴う市民一体となった感動体験の

#### 創出とレガシーの創造

49,613,000円 43,298,216円

#### ＜東京2020オリンピック・パラリンピック等推進事業費＞

東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けて、「東京2020大会等に向けた三鷹地域連携会議」と連携し、みたか“2020”ニュースの発行やTwitterなどを通じた情報発信、オンライン等による事業を実施しました。そのほか、東京都、組織委員会と連携し、オリンピック・パラリンピックの聖火リレー点火セレモニー、チリ共和国パラリンピアンの事前キャンプ、高橋侑子選手オンライン応援イベント等による市民一体となった感動体験の創出と市民に受け継がれるレガシー創造に取り組みました。

また、大会後のレガシーとして、「東京2020大会等に向けた三鷹地域連携会議」より、「東京2020大会等に向けた三鷹地域連携会議 大会レガシーに関する提言及び活動報告書」の提出を受け、今後の大会レガシーのあり方について検討しました。

#### 〔実績・内容〕

- ・東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニー

実 施 日 令和3年7月16日（金）

内 容 武蔵野市、調布市と同日に行われ、聖火ランナーがトーチキスによる点火セレモニーを行いました。

参加人数 17人

- ・東京2020パラリンピック聖火リレー点火セレモニー

実 施 日 令和3年8月23日（月）

内 容 世田谷区、府中市、調布市、西東京市と同日に行われ、聖火ランナーがトーチキスによる点火セレモニーを行いました。

参加人数 29人

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車ロードレース <ul style="list-style-type: none"> <li>実施日 男子 令和3年7月24日（土） 女子 令和3年7月25日（日）</li> <li>内 容 コースの一部となった大沢地域（大沢総合グラウンド通り～人見街道～東八道路）において無観客で開催された自転車ロードレースに、コースサポーターとして市民が参加しました。</li> <li>参加人数 延べ205人</li> </ul> </li> <li>・高橋侑子選手のオンライン応援イベント <ul style="list-style-type: none"> <li>実施日 令和3年7月27日（火）、31日（土）</li> <li>内 容 三鷹市出身の高橋侑子選手がオリンピックのトライアスロン女子、混合リレーに出場されたことに合わせ、オンラインでの応援イベントを開催しました。</li> <li>参加人数 延べ58人</li> </ul> </li> <li>・チリ事前キャンプの受け入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>実施日 卓球 令和3年8月6日（金）～8月19日（木） アーチェリー 令和3年8月6日（金）～8月21日（土）</li> <li>内 容 大会に出場するチリパラリンピック委員会選手団（卓球・アーチェリー）に、練習会場と宿泊施設を提供し、事前キャンプを実施しました。</li> <li>選手団 10人（選手5人、コーチ・スタッフ5人）</li> </ul> </li> <li>・チリパラリンピック委員会選手団の事前キャンプにおける練習見学会 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施日 令和3年8月10日（火）、13日（金）</li> <li>内 容 卓球種目に参加したチリパラリンピック委員会選手団の練習見学会を開催しました。</li> <li>参加人数 延べ97人</li> </ul> </li> <li>・チリ選手とのオンライン交流会 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施日 令和3年8月9日（月・祝）、14日（土）、18日（水）</li> <li>内 容 卓球種目とアーチェリー種目に参加したチリパラリンピック選手5人と市民とのオンラインでの交流会を開催しました。</li> <li>参加人数 延べ74組</li> </ul> </li> <li>・三鷹ゆかりのアスリート応援 <ul style="list-style-type: none"> <li>内 容 大会に出場する三鷹にゆかりのある選手を応援するため、横断幕と懸垂幕の掲出や、市報やSNSでのPRのほか、市長への表敬訪問を実施しました。</li> </ul> </li> </ul>		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

- ・その他事業
  - みたかスポーツサポーターズの発足
  - 三鷹体操、みたかダンスの普及 など

【財源内訳】

都 支 出 金	11,489,000円	諸 収 入	2,838,000円
一 般 財 源	28,971,216円		

■オンライン応援イベント



- 3 「心と体の健康都市づくり」の実施 4,192,000円 3,952,025円  
 ＜心と体の健康都市づくり推進事業費＞

すべての市民の「身体健康増進」と「心豊かな生活の充実」を推進するため、日本女子体育大学と連携し、スポーツや運動を通じた健康増進効果、医療費との関連性等について調査を行いました。この調査を踏まえ、「スポーツを通じた健康都市づくりの基本的な考え方」を令和4年3月に策定しました。また、スポーツを通じた「心と体の健康都市づくり」を実現するため、ウォーキング、ランニング、三鷹体操及びみたかダンスを推進するとともに、「タッタカくん！ウォーク&ラン」アプリの運用を令和4年1月から始めました。

〔実績・内容〕

- ・スポーツを通じた健康都市づくりの基本的な考え方
  - 科学的根拠に基づく、スポーツを通じた健康増進事業の展開
  - 事業評価・点検による事業ターゲット（性別、年齢等）の明確化
  - 運動のきっかけづくりから運動習慣の定着を見据えた事業転換

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

- ・「タッタカくん！ウォーク&ラン」アプリ  
 目標を決めてトレーニングできる健康管理機能  
 市民が楽しめるバーチャル市民駅伝やスタンプラリー等各種イベント開催機能  
 イベントへの参加やトレーニング等アプリを使い続けることで溜まるポイント獲得及びランクアップ機能

**4 総合スポーツセンターの円滑な管理運営** 313,354,650円 294,837,265円

＜総合スポーツセンター管理関係費＞

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置に基づき、令和4年4月25日から5月31日まで休館しました。施設再開後は一層の感染症対策を図りながら、各種スポーツ教室を再開したほか、スポーツボランティア養成・支援事業、障がい者スポーツ教室事業の実施など、広く市民がスポーツに親しむ機会を創出しました。また、指定管理者の指定期間が令和3年度で終期を迎えることから、指定管理者の指定の手続を行いました。指定に当たっては、体育協会、地域スポーツクラブなど市民との協働による事業展開が図られることを重視しました。

〔事業概要〕

- ・施設利用者 年間延べ316,196人（前年度比132%）
- ・種目別個人開放事業
  - 種目 バasketボール、バドミントン、卓球
  - 利用者数 5,468人（前年度比74%）
- ・各種スポーツ教室
  - 開催数 479教室
  - 参加者数 延べ69,719人（前年度比169%）
- ・健康・体力相談事業
  - 利用者数 延べ248人（前年度比171%）

〔債務負担行為の内容〕

総合スポーツセンター指定管理料  
 （令和4～8年度＜債務負担分＞）

※「公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団」が引き続き指定管理者となりました。

【財源内訳】

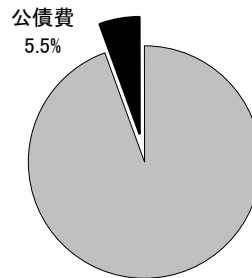
使用料手数料	51,364,330円	諸収入	5,000,000円
一般財源	238,472,935円		



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
5 大沢野川グラウンドの復旧・整備に向けた設計	48,742,760円	48,730,000円
＜大沢野川グラウンド整備事業費＞		
東京都の野川大沢調節池規模拡大工事のため利用停止中の大沢野川グラウンドについて、令和4年度の復旧工事に向けた実施設計を行いました。		
当初、余裕期間制度を活用のうえ、令和4年4月から復旧工事に着手し、令和5年1月からの利用開始を予定していましたが、工事手法の変更が必要となったことにより、スケジュールを見直し、令和5年4月下旬以降の利用開始に向けて、令和4年7月から工事に着手することとしました。		
【財源内訳】		
諸 収 入	48,730,000円	

## 第11款 公債費

### ■一般会計に占める割合



### ■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和3年度	4,357,258	4,336,343	0	0	22,995	4,313,348	99.5%
令和2年度	3,730,957	3,719,715	0	0	24,288	3,695,427	99.7%
増減	626,301	616,628	0	0	△1,293	617,921	—

事業名 < 事項名 > 及び事業概要	予算現額	決算額
--------------------	------	-----

### 公債費

1 公債費の繰上償還の実施 630,000,000円 630,000,000円

#### <市債償還元金>

平成24年度及び平成25年度借入分の市中銀行資金について、繰上償還を行うことで、公債費の後年度負担の軽減を図りました。

[実績・内容]

繰上償還額 630,000,000円

- ・平成24年度 (借入利率0.589%)

三鷹中央防災公園・元気創造プラザ整備事業債 135,768,000円

- ・平成25年度 (借入利率0.668%)

三鷹中央防災公園・元気創造プラザ整備事業債 494,232,000円

# 歳 入

科目名及び事業概要	予算現額	決算額
-----------	------	-----

**国庫支出金**

**1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金**      302,342,000円      333,770,000円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、市町村が地域の実情に応じてきめ細かに必要な事業を実施できるよう令和2年度に創設された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が交付されました。令和3年度も引き続き、感染症対策や事業者支援、高齢者・子どものための支援など幅広い事業の財源として有効に活用しました。

[充当事業]

(単位 円)

款	事 業	充当額
民生費	敬老のつどいの中止とお食事クーポン券の配布	40,735,000
	子育て応援給付金の給付	89,297,000
衛生費	新型コロナウイルス感染症対策の推進（医療機関への支援）	115,062,000
商工費	経営相談窓口開設期間の延長	9,204,000
	不況対策緊急資金融資あっせん制度の要件の緩和	14,801,000
	中小企業の感染防止対策への支援	6,164,000
	中小企業への特別給付金の給付	58,507,000
計		333,770,000

